

認知症になっても安心して暮らせる
まちづくりアンケート（当事者）
結果報告書

令和8年3月

枚 方 市

目 次

I	調査の概要.....	1
II	調査結果.....	2
	1. 回答者ご自身について.....	2
	2. 趣味や関心事について.....	3
	3. 地域とのかかわりについて.....	7
	4. 介護保険サービスの利用状況について.....	12
	5. 認知症もしくは軽度認知障害（MCI）にかかわる質問について.....	15
	6. 認知症施策について.....	25

I 調査の概要

1 調査の目的

ひらかた高齢者保健福祉計画 21（第 10 期）に包含される認知症施策推進計画の策定にあたり、認知症基本法の理念に基づき、認知症の人と家族が尊厳を保持しつつ希望を持って暮らすことができる共生社会の実現をめざし、認知症の本人及び家族の声を尊重し、「新しい認知症観」に基づいた施策の在り方を検討することを目的として調査を実施しました。

2 調査対象

市内に在住している認知症もしくは軽度認知障害（MCI）の方

3 調査期間

令和 8 年 1 月

4 調査方法

郵送による配布、郵送・WEB 併用回収

5 回収状況

紙調査回収数	WEB 回収数	回収数合計
158件	9 件	167件

6 調査結果の表示方法

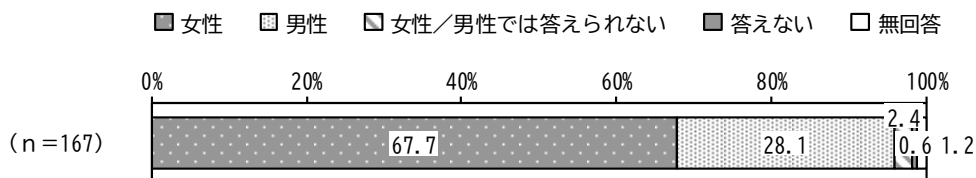
- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（％）で示してあります。また、小数点以下第 2 位を四捨五入しているため、内訳の合計が 100.0％にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が 100.0％を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

Ⅱ 調査結果

1. 回答者ご自身について

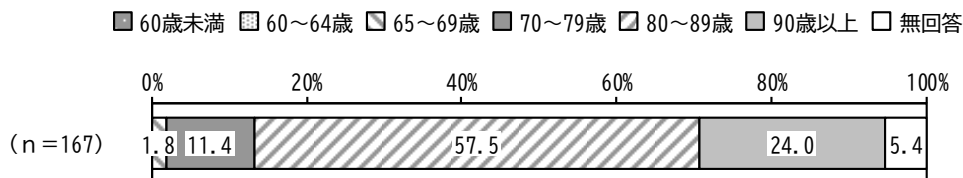
性別

「女性」の割合が 67.7%と最も高く、次いで「男性」の割合が 28.1%となっています。



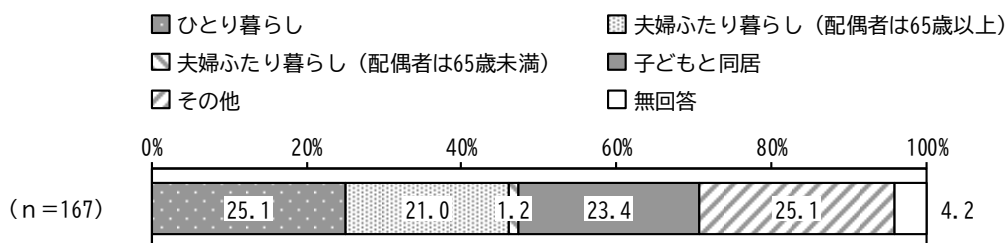
年齢

「80～89 歳」の割合が 57.5%と最も高く、次いで「90 歳以上」の割合が 24.0%、「70～79 歳」の割合が 11.4%となっています。



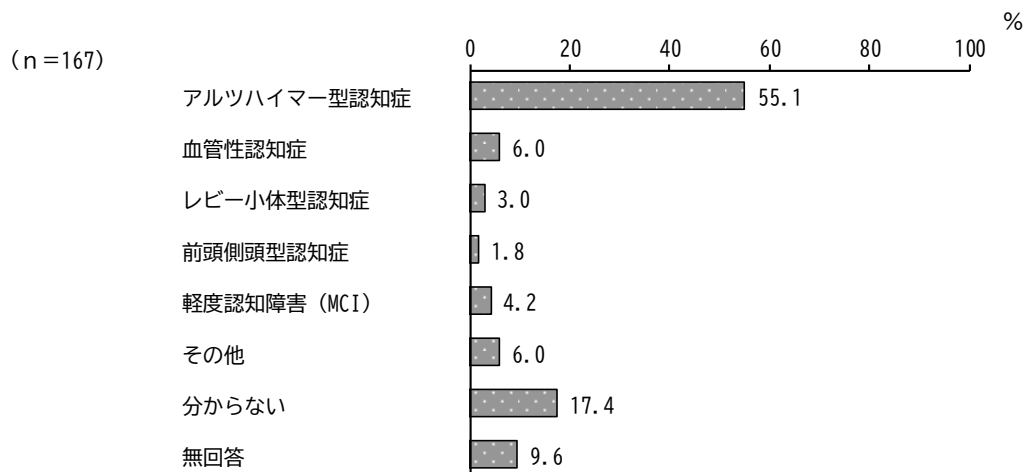
家族構成

「ひとり暮らし」の割合が 25.1%と最も高く、次いで「子どもと同居」の割合が 23.4%、「夫婦ふたり暮らし（配偶者は 65 歳以上）」の割合が 21.0%となっています。



認知症等種別（あてはまるものすべてに○）

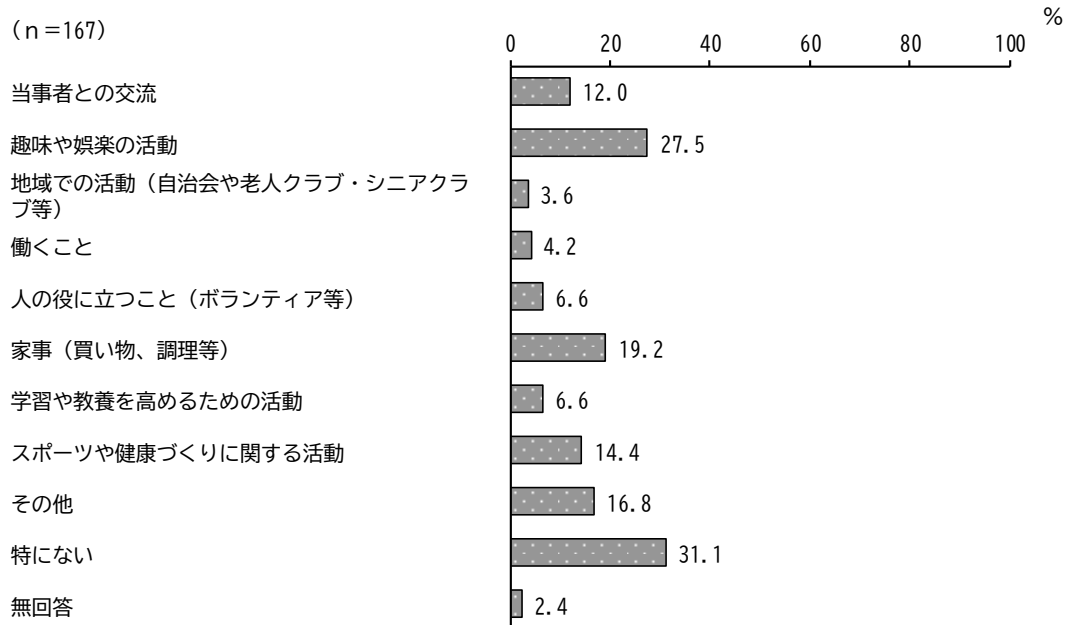
「アルツハイマー型認知症」の割合が 55.1%と最も高くなっています。



2. 趣味や関心事について

問1 現在楽しみにしている活動もしくは今後やってみたい活動は何ですか。
(あてはまるものすべてに○)

「特にない」の割合が31.1%と最も高く、次いで「趣味や娯楽の活動」の割合が27.5%、次いで「家事（買い物、調理等）」の割合が19.2%となっています。



【性別】

性別にみると、男性と比べて女性で「当事者との交流」「家事（買い物、調理等）」の割合が高く、女性と比べて男性で「働くこと」「学習や教養を高めるための活動」「スポーツや健康づくりに関する活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	当事者との交流	趣味や娯楽の活動	地域での活動（自治会や老人クラブ・シニアクラブ等）	働くこと	人の役に立つこと（ボランティア等）	家事（買い物、調理等）	学習や教養を高めるための活動	スポーツや健康づくりに関する活動	その他	特にない	無回答
全 体	167	12.0	27.5	3.6	4.2	6.6	19.2	6.6	14.4	16.8	31.1	2.4
女性	113	15.9	26.5	2.7	0.0	6.2	23.9	3.5	8.8	19.5	29.2	2.7
男性	47	4.3	29.8	4.3	12.8	8.5	6.4	14.9	25.5	10.6	36.2	0.0
女性/男性では答えられない	4	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0	25.0	0.0	25.0	25.0	25.0	0.0
無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3

【年代別】

年代別にみると、70歳～90歳以上まで年代が下がるほど「働くこと」の割合が高く、70～90歳以上まで年代が上がるほど「当事者との交流」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	当事者との交流	趣味や娯楽の活動	地域での活動 (自治会や老人 クラブ・シニアクラブ等)	働くこと	人の役に立つこと (ボランティア等)	家事 (買い物、調理等)	学習や教養を高めるための 活動	スポーツや健康づくりに関 する活動	その他	特にな い	無回 答
全 体	167	12.0	27.5	3.6	4.2	6.6	19.2	6.6	14.4	16.8	31.1	2.4
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	33.3	66.7	66.7	33.3	33.3	66.7	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0
70～79歳	19	5.3	10.5	0.0	10.5	0.0	21.1	5.3	0.0	26.3	42.1	0.0
80～89歳	96	10.4	30.2	4.2	3.1	6.3	21.9	5.2	15.6	11.5	31.3	2.1
90歳以上	40	17.5	25.0	0.0	2.5	7.5	10.0	10.0	15.0	20.0	30.0	2.5
無回答	9	11.1	33.3	0.0	0.0	11.1	11.1	0.0	22.2	33.3	22.2	11.1

【認知症等種別】

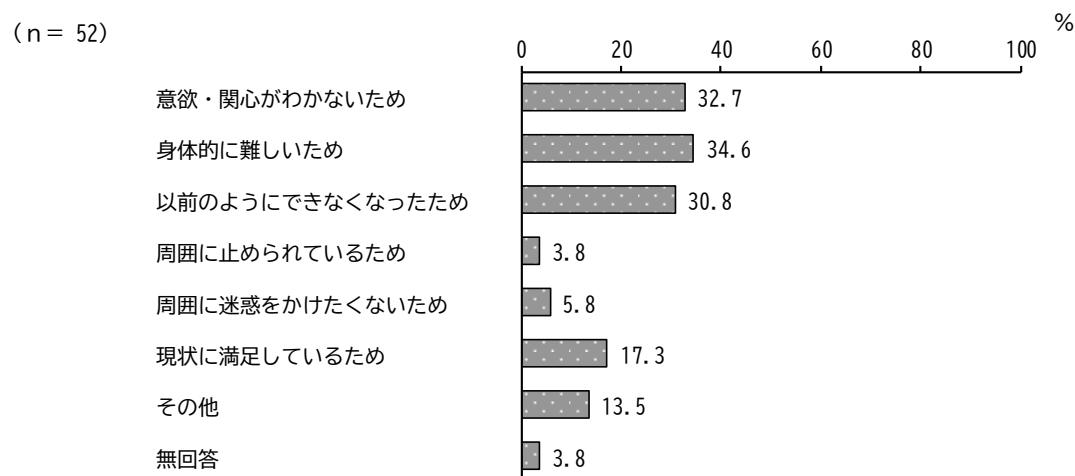
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「人の役に立つこと（ボランティア等）」「家事（買い物、調理等）」「スポーツや健康づくりに関する活動」の割合が高く、血管性認知症で「当事者との交流」「趣味や娯楽の活動」「地域での活動（自治会や老人クラブ・シニアクラブ等）」「働くこと」「学習や教養を高めるための活動」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	当事者との交流	趣味や娯楽の活動	地域での活動 (自治会や老人 クラブ・シニアクラブ等)	働くこと	人の役に立つこと (ボランティア等)	家事 (買い物、調理等)	学習や教養を高めるための 活動	スポーツや健康づくりに関 する活動	その他	特にな い	無回 答
全 体	128	14.1	30.5	3.1	3.9	7.8	17.2	7.8	14.8	13.3	29.7	3.1
アルツハイマー型認知症	92	14.1	26.1	3.3	2.2	7.6	19.6	7.6	15.2	13.0	33.7	3.3
血管性認知症	10	30.0	60.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	10.0	10.0	10.0	0.0
レビー小体型認知症	5	20.0	40.0	0.0	20.0	0.0	40.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0
前頭側頭型認知症	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	42.9	28.6	0.0
無回答	16	6.3	43.8	0.0	6.3	18.8	6.3	6.3	12.5	6.3	25.0	6.3

問1－1 前問で、「特にない」と回答された方におたずねします。やってみたいことがない理由について教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「身体的に難しいため」の割合が 34.6%と最も高く、次いで「意欲・関心がわかないため」の割合が 32.7%、「以前のようにできなくなったため」の割合が 30.8%となっています。



【性別】

性別にみると、男性と比べて女性で「身体的に難しいため」「周囲に止められているため」「周囲に迷惑をかけたくないため」「現状に満足しているため」の割合が高く、女性と比べて男性で「意欲・関心がわかないため」「以前のようにできなくなったため」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	意欲・関心がわかないため	身体的に難しいため	以前のようにできなくなったため	周囲に止められているため	周囲に迷惑をかけたくないため	現状に満足しているため	その他	無回答
全 体	52	32.7	34.6	30.8	3.8	5.8	17.3	13.5	3.8
女性	33	30.3	39.4	30.3	6.1	9.1	21.2	9.1	3.0
男性	17	35.3	29.4	35.3	0.0	0.0	11.8	17.6	5.9
女性/男性では答えられない	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	100.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が下がるほど「意欲・関心がわかないため」の割合が高く、70 歳代～80 歳代まで年代が上がるほど「以前のようにできなくなったため」の割合が高くなっています。また、80 歳代で「意欲・関心がわかないため」「周囲に止められているため」「現状に満足しているため」の割合が高くなっています。

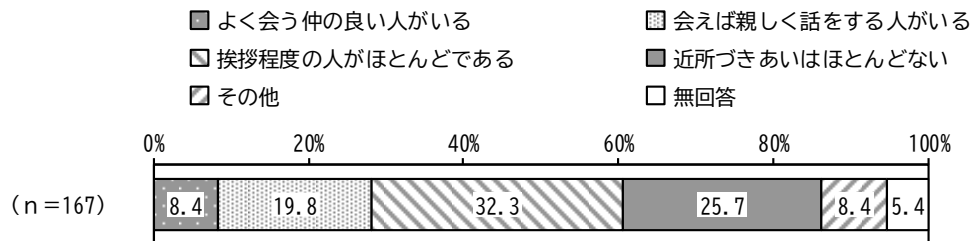
単位：％

区分	回答者数 (件)	意欲・関心がわかないため	身体的に難しいため	以前のようにできなくなったため	周囲に止められているため	周囲に迷惑をかけたくないため	現状に満足しているため	その他	無回答
全 体	52	32.7	34.6	30.8	3.8	5.8	17.3	13.5	3.8
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳	8	50.0	37.5	25.0	0.0	0.0	12.5	25.0	12.5
80～89歳	30	33.3	33.3	33.3	6.7	6.7	23.3	10.0	0.0
90歳以上	12	16.7	33.3	33.3	0.0	8.3	0.0	16.7	8.3
無回答	2	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0

3. 地域とのかかわりについて

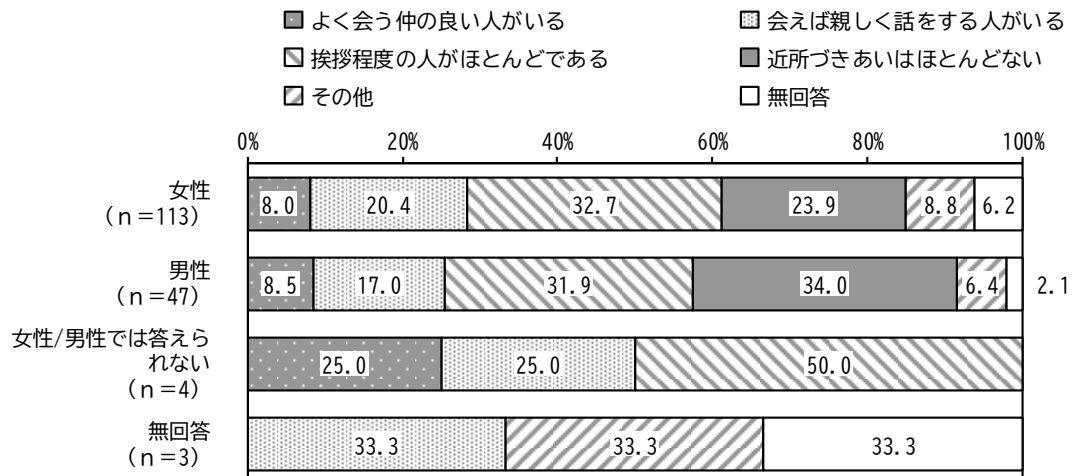
問2 近所づきあいをどの程度していますか。(あてはまるもの1つに○)

「挨拶程度の人ほとんどである」の割合が 32.3%と最も高く、次いで「近所づきあいはほとんどない」の割合が 25.7%、「会えば親しく話をする人がいる」の割合が 19.8%となっています。



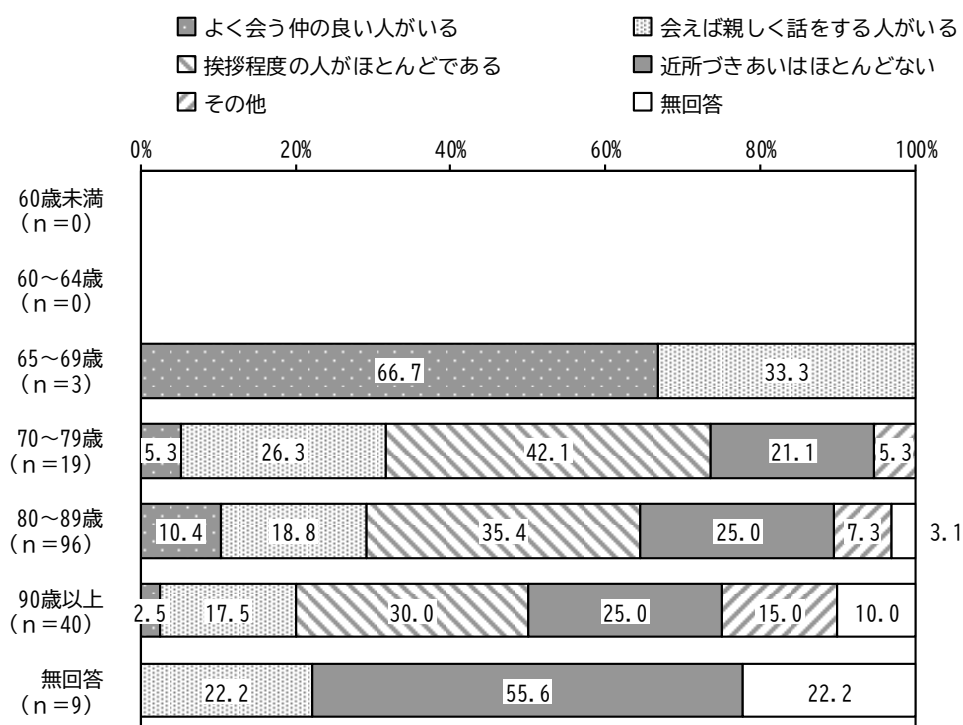
【性別】

性別にみると、女性と比べて男性で「近所づきあいはほとんどない」の割合が高くなっています。



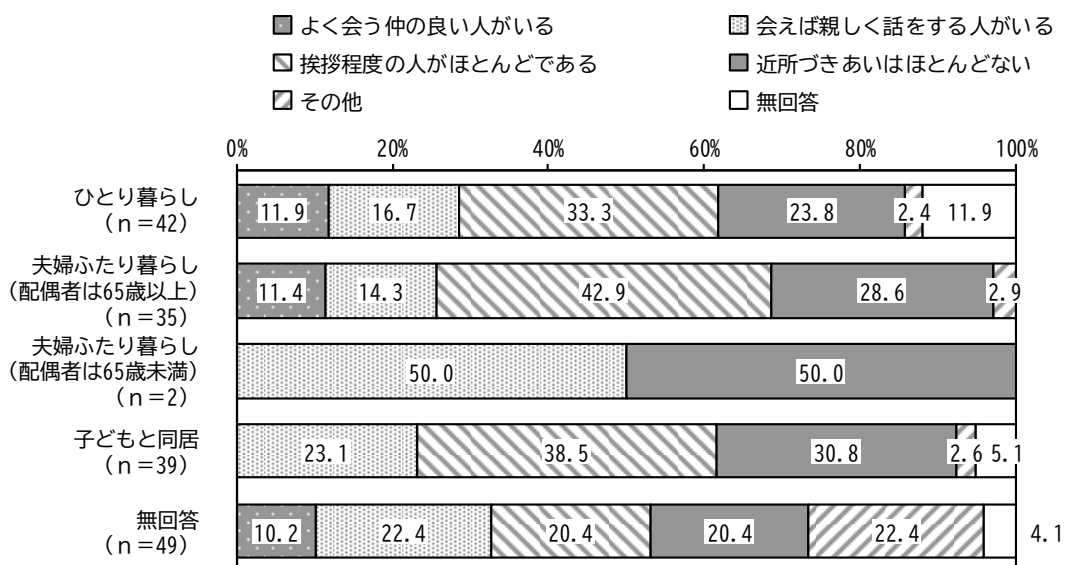
【年代別】

年代別にみると、70歳代～90歳以上まで年代が下がるほど「会えば親しく話をする人がある」の割合が高く、70歳代～90歳以上まで年代が下がるほど「挨拶程度の人がほとんどである」の割合が高くなっています。



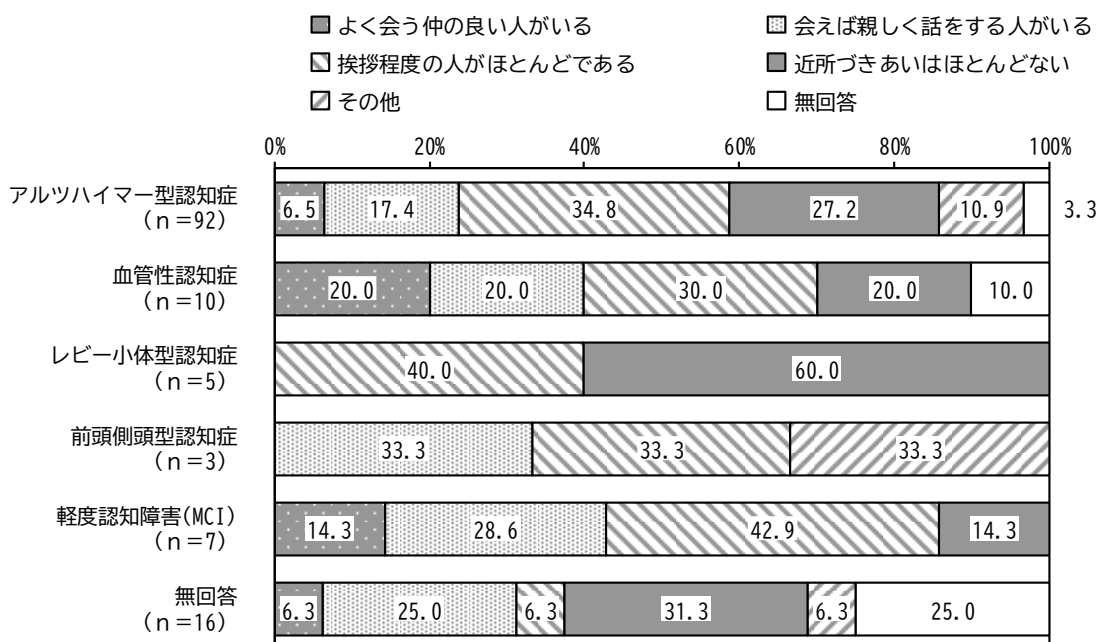
【家族構成別】

家族構成別にみると、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)、子どもと同居で「挨拶程度の人がほとんどである」の割合が高くなっています。



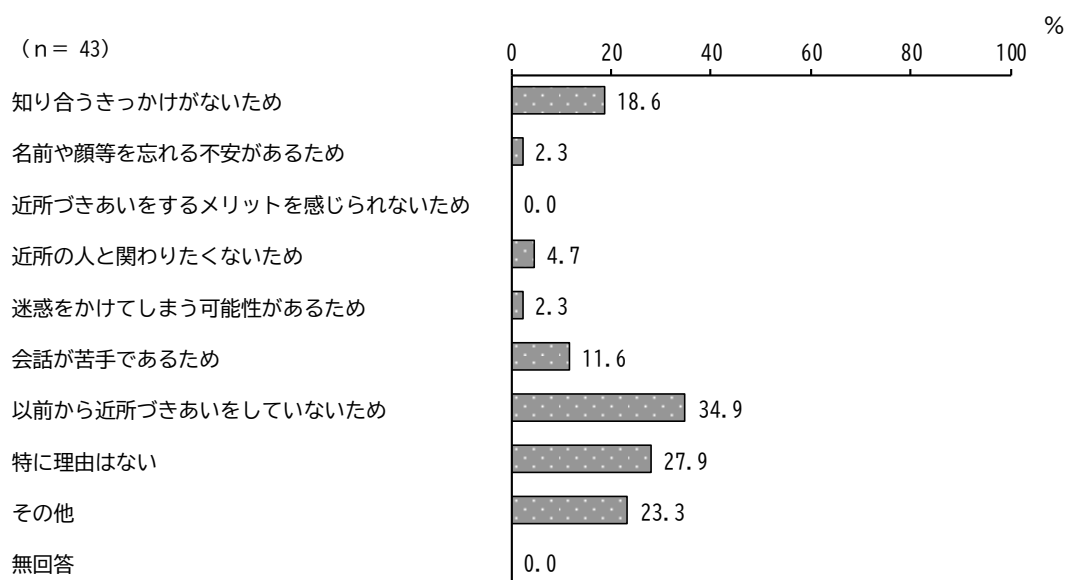
【認知症等種別】

認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「近所づきあいはほとんどない」の割合が高く、血管性認知症で「よく会う仲の良い人がある」の割合が高くなっています。



問2-1 前問で、「近所づきあいはほとんどない」と回答された方におたずねします。近所づきあいはほとんどない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「以前から近所づきあいをしていないため」の割合が34.9%と最も高く、次いで「特に理由はない」の割合が27.9%、「知り合うきっかけがないため」の割合が18.6%となっています。



【性別】

性別にみると、女性と比べて男性で「知り合うきっかけがないため」「近所の人と関わりたくないため」「会話が苦手であるため」「以前から近所づきあいをしていないため」の割合が高く、男性と比べて女性で「特に理由はない」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知り合う きっかけ がない ため	名前や顔等 を忘れる 不安 がある ため	近所づき あいをする メリ ットを感 じられない ため	近所の人 と関わり たくな いため	迷惑を かけてし まう可 能性 がある ため	会話が 苦手である ため	以前から 近所づき あいを して いない ため	特に理 由は ない	その他	無 回 答
全 体	43	18.6	2.3	0.0	4.7	2.3	11.6	34.9	27.9	23.3	0.0
女性	27	3.7	3.7	0.0	0.0	3.7	3.7	25.9	40.7	25.9	0.0
男性	16	43.8	0.0	0.0	12.5	0.0	25.0	50.0	6.3	18.8	0.0
女性/男性では答えられない	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

【年代別】

年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が下がるほど「知り合うきっかけがないため」の割合が高く、80 歳代～90 歳以上まで年代が下がるほど「会話が苦手であるため」「以前から近所づきあいをしていないため」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	知り合う きっかけ がない ため	名前や顔等 を忘れる 不安 がある ため	近所づき あいをする メリ ットを感 じられない ため	近所の人 と関わり たくな いため	迷惑を かけてし まう可 能性 がある ため	会話が 苦手である ため	以前から 近所づき あいを して いない ため	特に理 由は ない	その他	無 回 答
全 体	43	18.6	2.3	0.0	4.7	2.3	11.6	34.9	27.9	23.3	0.0
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
70～79歳	4	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	50.0	0.0
80～89歳	24	20.8	4.2	0.0	8.3	4.2	16.7	50.0	20.8	8.3	0.0
90歳以上	10	20.0	0.0	0.0	0.0	0.0	10.0	30.0	50.0	20.0	0.0
無回答	5	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	80.0	0.0

【家族構成別】

家族構成別にみると、子どもと同居で「知り合うきっかけがないため」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)で「近所の人と関わりたくないため」「会話が苦手であるため」の割合が高くなっています。

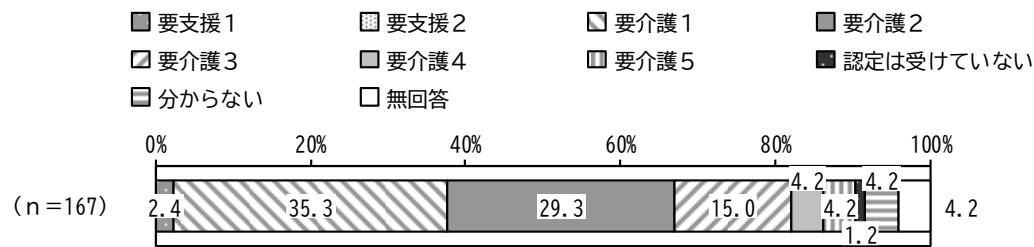
単位：％

区分	回答者数(件)	知り合うきっかけがないため	名前や顔等を忘れる不安があるため	近所づきあいをするメリットを感じられないため	近所の人と関わりたくないため	迷惑をかけてしまう可能性があるため	会話が苦手であるため	以前から近所づきあいをしていないため	特に理由はない	その他	無回答
全 体	43	18.6	2.3	0.0	4.7	2.3	11.6	34.9	27.9	23.3	0.0
ひとり暮らし	10	10.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	50.0	20.0	0.0
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳以上)	10	20.0	10.0	0.0	20.0	0.0	30.0	50.0	10.0	20.0	0.0
夫婦ふたり暮らし(配偶者は65歳未満)	1	100.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
子どもと同居	12	33.3	0.0	0.0	0.0	8.3	16.7	50.0	16.7	16.7	0.0
無回答	10	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	40.0	40.0	0.0

4. 介護保険サービスの利用状況について

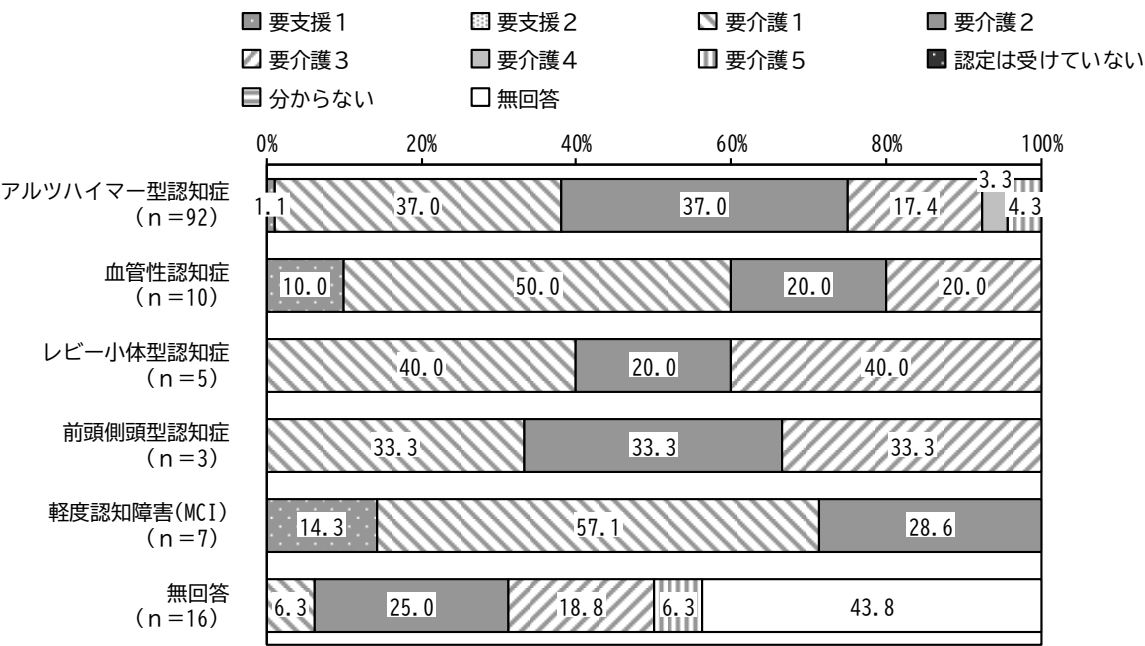
問3 現在、介護認定を受けていますか。(あてはまるもの1つに○)

「要介護1」の割合が35.3%と最も高く、次いで「要介護2」の割合が29.3%、「要介護3」の割合が15.0%となっています。



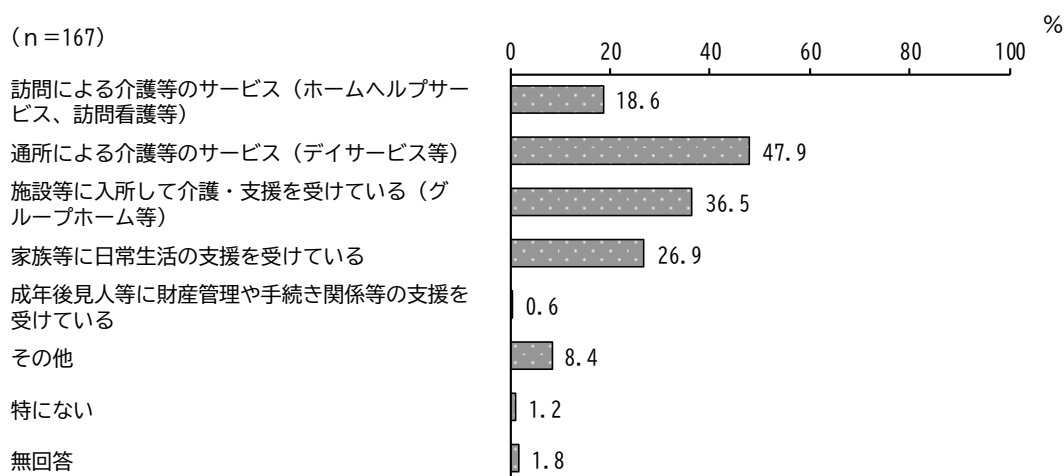
【認知症等種別】

認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「要介護1」「要介護2」の割合が高く、血管性認知症で「要介護1」の割合が高くなっています。



問4 現在、日常生活でどのような支援を受けていますか。(あてはまるものすべてに○)

「通所による介護等のサービス（デイサービス等）」の割合が 47.9%と最も高く、次いで「施設等に入所して介護・支援を受けている（グループホーム等）」の割合が 36.5%、「家族等に日常生活の支援を受けている」の割合が 26.9%となっています。



【年代別】

年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が上がるほど「施設等に入所して介護・支援を受けている（グループホーム等）」の割合が高い傾向にあり、70 歳代～90 歳以上まで年代が下がるほど「通所による介護等のサービス（デイサービス等）」「家族等に日常生活の支援を受けている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数 (件)	訪問による介護等のサービス (ホームヘルプサービス、訪問看護等)	通所による介護等のサービス (デイサービス等)	施設等に入所して介護・支援を受けている (グループホーム等)	家族等に日常生活の支援を受けている	成年後見人等に財産管理や手続き関係等の支援を受けている	その他	特にない	無回答
全 体	167	18.6	47.9	36.5	26.9	0.6	8.4	1.2	1.8
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	66.7
70～79歳	19	5.3	52.6	26.3	42.1	0.0	5.3	0.0	0.0
80～89歳	96	22.9	52.1	32.3	28.1	1.0	10.4	1.0	0.0
90歳以上	40	17.5	42.5	47.5	22.5	0.0	7.5	2.5	0.0
無回答	9	11.1	22.2	66.7	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1

【認知症等種別】

認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「訪問による介護等のサービス（ホームヘルプサービス、訪問看護等）」「家族等に日常生活の支援を受けている」の割合が高くなっています。

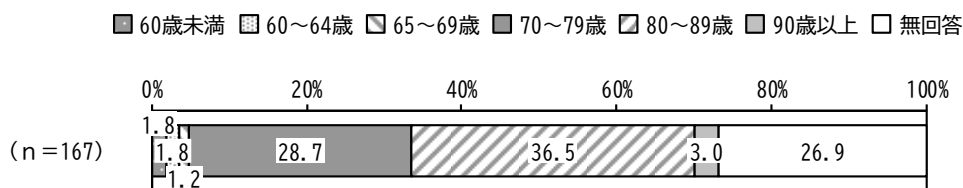
単位：％

区分	回答者数（件）	訪問による介護等のサービス（ホームヘルプサービス、訪問看護等）	通所による介護等のサービス（デイサービス等）	施設等に入所して介護・支援を受けている（グループホーム等）	家族等に日常生活の支援を受けている	成年後見人等に財産管理や手続き関係等の支援を受けている	その他	特になし	無回答
全 体	128	17.2	46.9	39.1	25.0	0.8	9.4	0.0	1.6
アルツハイマー型認知症	92	18.5	46.7	39.1	26.1	1.1	12.0	0.0	0.0
血管性認知症	10	0.0	50.0	40.0	20.0	0.0	10.0	0.0	10.0
レビー小体型認知症	5	20.0	80.0	0.0	40.0	0.0	20.0	0.0	0.0
前頭側頭型認知症	3	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	42.9	85.7	0.0	42.9	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	16	12.5	31.3	56.3	12.5	0.0	0.0	0.0	6.3

5. 認知症もしくは軽度認知障害（MCI）にかかわる質問について

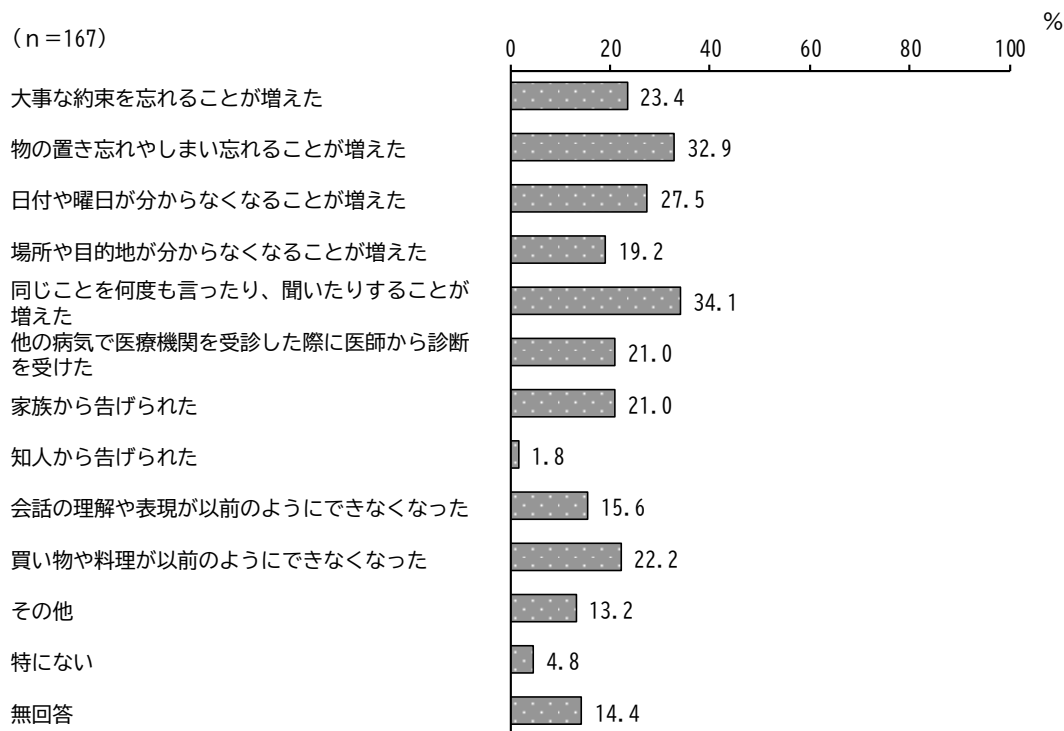
問5 認知症もしくは軽度認知障害（MCI）と診断されたご年齢を教えてください。

「80～89 歳」の割合が 36.5%と最も高く、次いで「70～79 歳」の割合が 28.7%となっています。



問6 病院を受診したきっかけを教えてください。（あてはまるものすべてに○）

「同じことを何度も言ったり、聞いたりすることが増えた」の割合が 34.1%と最も高く、次いで「物の置き忘れやしまい忘れることが増えた」の割合が 32.9%、「日付や曜日が分からなくなることが増えた」の割合が 27.5%となっています。



【年代別】

年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が上がるほど「場所や目的地が分からなくなることが増えた」の割合が高く、70 歳代～90 歳以上まで年代が下がるほど「物の置き忘れやしまい忘れることが増えた」「家族から告げられた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	大事な約束を忘れることが増えた	物の置き忘れやしまい忘れることが増えた	日付や曜日が分からなくなることが増えた	場所や目的地が分からなくなることが増えた	同じことを何度も言ったり、聞いたりすることが増えた	他の病気で医療機関を受診した際に医師から診断を受けた	家族から告げられた	知人から告げられた	会話の理解や表現が以前のようにできなくなった	買い物や料理が以前のようにできなくなった	その他	特にない	無回答
全 体	167	23.4	32.9	27.5	19.2	34.1	21.0	21.0	1.8	15.6	22.2	13.2	4.8	14.4
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
70～79歳	19	26.3	42.1	26.3	15.8	26.3	15.8	26.3	5.3	15.8	21.1	26.3	5.3	0.0
80～89歳	96	29.2	34.4	30.2	20.8	41.7	26.0	26.0	2.1	19.8	29.2	12.5	3.1	6.3
90歳以上	40	15.0	32.5	25.0	22.5	30.0	12.5	12.5	0.0	7.5	12.5	7.5	7.5	30.0
無回答	9	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11.1	11.1	66.7

【家族構成別】

家族構成別にみると、他の家族構成に比べて、夫婦ふたり暮らし（配偶者は 65 歳以上）で「他の病気で医療機関を受診した際に医師から診断を受けた」、子どもと同居で「家族から告げられた」「会話の理解や表現が以前のようにできなくなった」「買い物や料理が以前のようにできなくなった」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	大事な約束を忘れることが増えた	物の置き忘れやしまい忘れることが増えた	日付や曜日が分からなくなることが増えた	場所や目的地が分からなくなることが増えた	同じことを何度も言ったり、聞いたりすることが増えた	他の病気で医療機関を受診した際に医師から診断を受けた	家族から告げられた	知人から告げられた	会話の理解や表現が以前のようにできなくなった	買い物や料理が以前のようにできなくなった	その他	特にない	無回答
全 体	167	23.4	32.9	27.5	19.2	34.1	21.0	21.0	1.8	15.6	22.2	13.2	4.8	14.4
ひとり暮らし	42	21.4	35.7	21.4	16.7	31.0	16.7	16.7	0.0	14.3	11.9	7.1	9.5	14.3
夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳以上）	35	17.1	17.1	22.9	17.1	25.7	37.1	22.9	5.7	20.0	17.1	20.0	8.6	8.6
夫婦ふたり暮らし（配偶者は65歳未満）	2	0.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0
子どもと同居	39	20.5	35.9	30.8	12.8	33.3	23.1	33.3	0.0	25.6	28.2	17.9	2.6	5.1
無回答	49	32.7	38.8	32.7	26.5	44.9	12.2	14.3	2.0	4.1	30.6	8.2	0.0	26.5

【認知症等種別】

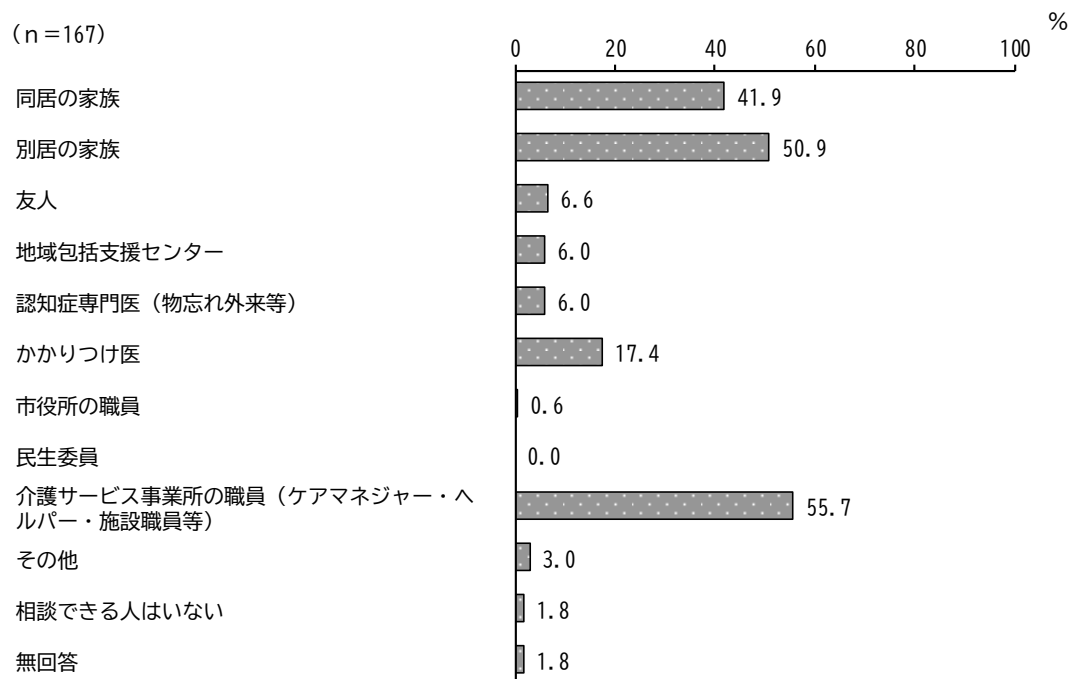
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「場所や目的地が分からなくなることが増えた」「同じことを何度も言ったり、聞いたりすることが増えた」「会話の理解や表現が以前のようにできなくなった」「買い物や料理が以前のようにできなくなった」の割合が高く、血管性認知症で「物の置き忘れやしまい忘れることが増えた」「日付や曜日が分からなくなることが増えた」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	大事な約束を忘れることが増えた	物の置き忘れやしまい忘れることが増えた	日付や曜日が分からなくなることが増えた	場所や目的地が分からなくなることが増えた	同じことを何度も言ったり、聞いたりすることが増えた	他の病気で医療機関を受診した際に医師から診断を受けた	家族から告げられた	知人から告げられた	会話の理解や表現が以前のようにできなくなった	買い物や料理が以前のようにできなくなった	その他	特にな	無回答
全 体	128	26.6	37.5	30.5	21.1	42.2	21.1	22.7	2.3	17.2	26.6	12.5	3.1	13.3
アルツハイマー型認知症	92	30.4	45.7	35.9	26.1	54.3	23.9	22.8	3.3	23.9	33.7	10.9	2.2	4.3
血管性認知症	10	30.0	60.0	50.0	20.0	30.0	20.0	20.0	0.0	10.0	20.0	20.0	0.0	0.0
レビー小体型認知症	5	40.0	40.0	40.0	0.0	20.0	20.0	80.0	0.0	20.0	40.0	20.0	0.0	0.0
前頭側頭型認知症	3	33.3	33.3	33.3	33.3	66.7	0.0	66.7	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	14.3	14.3	14.3	0.0	14.3	28.6	42.9	0.0	0.0	0.0	28.6	14.3	0.0
無回答	16	0.0	0.0	0.0	6.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	6.3	6.3	81.3

問7 相談できる人はいますか。(あてはまるものすべてに○)

「介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）」の割合が 55.7%と最も高く、次いで「別居の家族」の割合が 50.9%、「同居の家族」の割合が 41.9%となっています。



【性別】

性別にみると、男性と比べて女性で「別居の家族」の割合が高く、女性と比べて男性で「同居の家族」「地域包括支援センター」「かかりつけ医」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	同居の家族	別居の家族	友人	地域包括支援センター	認知症専門医（物忘れ外来等）	かかりつけ医	市役所の職員	民生委員	介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体	167	41.9	50.9	6.6	6.0	6.0	17.4	0.6	0.0	55.7	3.0	1.8	1.8
女性	113	32.7	60.2	6.2	4.4	7.1	15.0	0.0	0.0	58.4	3.5	0.9	0.9
男性	47	68.1	27.7	6.4	10.6	4.3	25.5	2.1	0.0	55.3	2.1	2.1	2.1
女性/男性では答えられない	4	25.0	75.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	33.3	33.3

【年代別】

年代別にみると、年代が上がるほど「介護サービス事業所の職員（ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等）」の割合が高い傾向にあり、70 歳代～80 歳代まで年代が上がるほど「別居の家族」の割合が高い傾向にあります。

単位：％

区分	回答者数 (件)	同居の家族	別居の家族	友人	地域包括支援センター	認知症専門医 (物忘れ外来等)	かかりつけ医	市役所の職員	民生委員	介護サービス事業所の職員 (ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等)	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体	167	41.9	50.9	6.6	6.0	6.0	17.4	0.6	0.0	55.7	3.0	1.8	1.8
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	100.0	33.3	66.7	100.0	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0
70～79歳	19	47.4	47.4	5.3	10.5	21.1	15.8	0.0	0.0	36.8	0.0	5.3	5.3
80～89歳	96	40.6	55.2	7.3	5.2	5.2	19.8	0.0	0.0	60.4	3.1	1.0	0.0
90歳以上	40	42.5	37.5	2.5	0.0	2.5	12.5	0.0	0.0	62.5	2.5	2.5	2.5
無回答	9	22.2	77.8	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	0.0	22.2	11.1	0.0	11.1

【家族構成別】

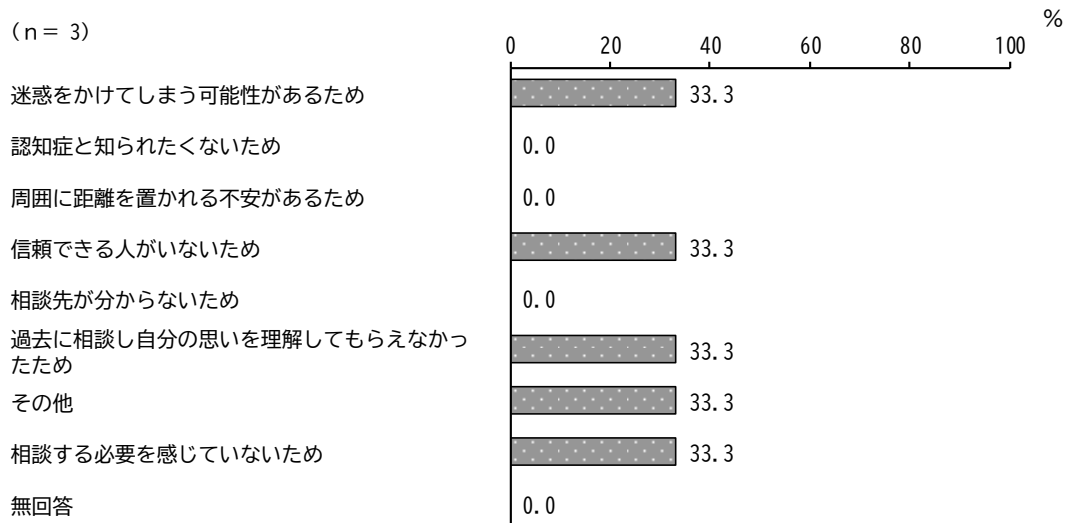
家族構成別にみると、他の家族構成に比べて、子どもと同居で「同居の家族」、ひとり暮らしで「別居の家族」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は 65 歳以上)で「地域包括支援センター」、夫婦ふたり暮らし(配偶者は 65 歳以上)、子どもと同居で「かかりつけ医」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	同居の家族	別居の家族	友人	地域包括支援センター	認知症専門医 (物忘れ外来等)	かかりつけ医	市役所の職員	民生委員	介護サービス事業所の職員 (ケアマネジャー・ヘルパー・施設職員等)	その他	相談できる人はいない	無回答
全 体	167	41.9	50.9	6.6	6.0	6.0	17.4	0.6	0.0	55.7	3.0	1.8	1.8
ひとり暮らし	42	7.1	83.3	4.8	0.0	4.8	9.5	0.0	0.0	50.0	7.1	0.0	0.0
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳以上)	35	77.1	48.6	2.9	14.3	5.7	28.6	0.0	0.0	54.3	0.0	2.9	0.0
夫婦ふたり暮らし (配偶者は65歳未満)	2	100.0	50.0	50.0	50.0	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0	0.0	0.0
子どもと同居	39	84.6	25.6	7.7	10.3	10.3	28.2	0.0	0.0	59.0	0.0	0.0	2.6
無回答	49	10.2	44.9	8.2	0.0	4.1	8.2	0.0	0.0	59.2	4.1	4.1	4.1

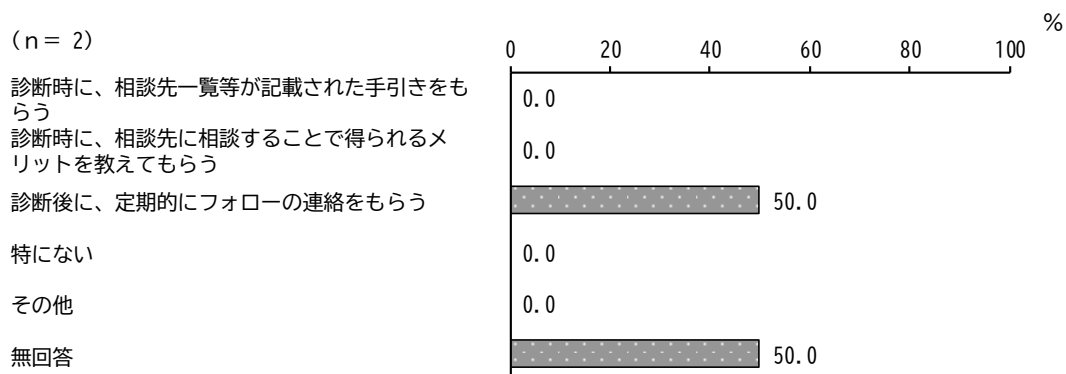
問7-1 前問で、「相談できる人はいない」を回答された方におたずねします。相談できる人はいない理由について教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「迷惑をかけてしまう可能性があるため」、「信頼できる人がいないため」、「過去に相談し自分の思いを理解してもらえなかったため」「相談する必要を感じていないため」が1件となっています。



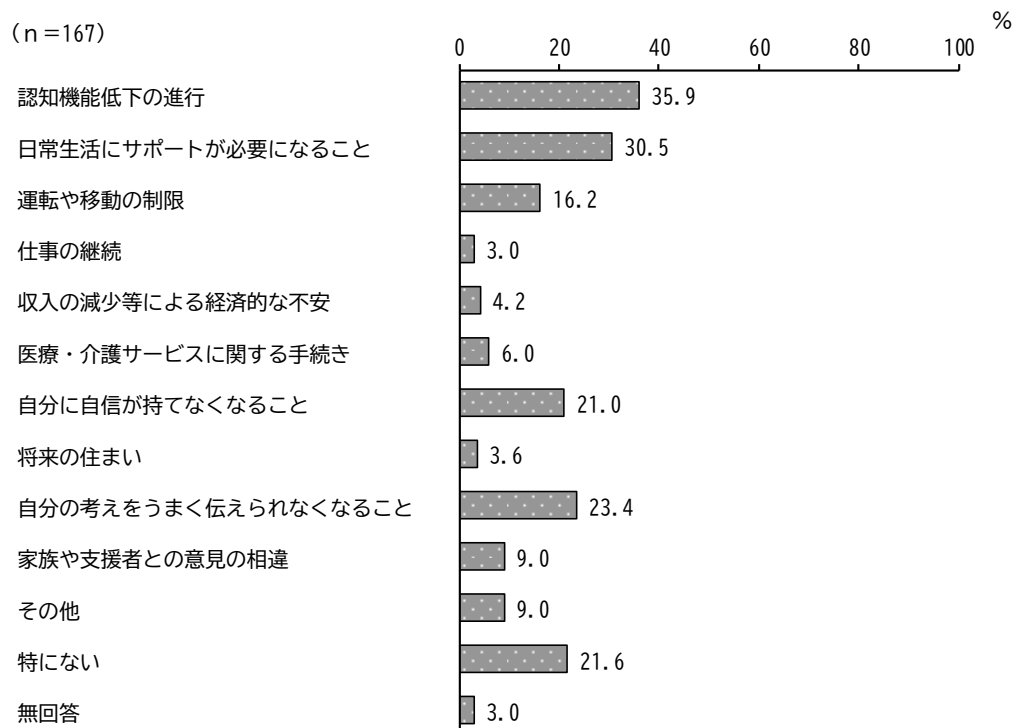
問7-2 前問で、「相談する必要を感じていないため」以外を回答された方におたずねします。どのようなきっかけがあれば、相談しやすくなると思いますか。(あてはまるものすべてに○)

「診断後に、定期的にフォローの連絡をもらう」が1件となっています。



問8 あなたの困ったこと・不安なことは何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「認知機能低下の進行」の割合が 35.9%と最も高く、次いで「日常生活にサポートが必要になること」の割合が 30.5%、「自分の考えをうまく伝えられなくなること」の割合が 23.4%となっています。



【性別】

性別にみると、男性と比べて女性で「認知機能低下の進行」「日常生活にサポートが必要になること」「自分に自信が持てなくなること」の割合が高く、女性と比べて男性で「運転や移動の制限」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	認知機能低下の進行	日常生活にサポートが必要になること	運転や移動の制限	仕事の継続	収入の減少等による経済的な不安	医療・介護サービスに関する手続き	自分に自信が持てなくなること	将来の住まい	自分の考えをうまく伝えられなくなること	家族や支援者との意見の相違	その他	特にない	無回答
全 体	167	35.9	30.5	16.2	3.0	4.2	6.0	21.0	3.6	23.4	9.0	9.0	21.6	3.0
女性	113	38.9	33.6	12.4	1.8	3.5	6.2	23.9	3.5	24.8	9.7	8.0	23.9	1.8
男性	47	27.7	27.7	27.7	4.3	6.4	4.3	17.0	4.3	23.4	6.4	12.8	14.9	4.3
女性/男性では答えられない	4	50.0	0.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0	50.0	0.0
無回答	3	33.3	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

【年代別】

年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が上がるほど「認知機能低下の進行」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知機能低下の進行	日常生活にサポートが必要になること	運転や移動の制限	仕事の継続	収入の減少等による経済的な不安	医療・介護サービスに関する手続き	自分に自信が持てなくなる	将来の住まい	自分の考えをうまく伝えられなくなる	家族や支援者との意見の相違	その他	特にない	無回答
全 体	167	35.9	30.5	16.2	3.0	4.2	6.0	21.0	3.6	23.4	9.0	9.0	21.6	3.0
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	33.3	66.7	0.0	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0
70～79歳	19	31.6	26.3	10.5	5.3	0.0	10.5	21.1	0.0	21.1	5.3	10.5	15.8	5.3
80～89歳	96	37.5	32.3	19.8	3.1	5.2	4.2	18.8	6.3	19.8	11.5	10.4	19.8	1.0
90歳以上	40	40.0	30.0	10.0	2.5	5.0	7.5	25.0	0.0	30.0	5.0	7.5	22.5	5.0
無回答	9	0.0	22.2	11.1	0.0	0.0	0.0	11.1	0.0	22.2	0.0	0.0	55.6	11.1

【認知症等種別】

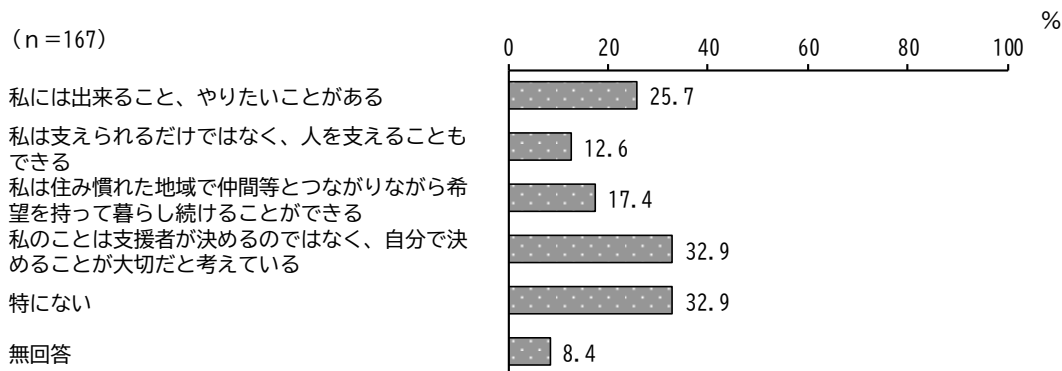
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「収入の減少等による経済的な不安」「医療・介護サービスに関する手続き」「将来の住まい」「家族や支援者との意見の相違」の割合が高く、血管性認知症で「認知機能低下の進行」「日常生活にサポートが必要になること」「仕事の継続」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知機能低下の進行	日常生活にサポートが必要になること	運転や移動の制限	仕事の継続	収入の減少等による経済的な不安	医療・介護サービスに関する手続き	自分に自信が持てなくなる	将来の住まい	自分の考えをうまく伝えられなくなる	家族や支援者との意見の相違	その他	特にない	無回答
全 体	128	42.2	34.4	16.4	2.3	4.7	5.5	23.4	4.7	23.4	10.2	8.6	18.0	3.9
アルツハイマー型認知症	92	40.2	33.7	13.0	2.2	5.4	5.4	23.9	5.4	21.7	12.0	9.8	22.8	0.0
血管性認知症	10	60.0	40.0	10.0	10.0	0.0	0.0	20.0	0.0	20.0	0.0	0.0	10.0	0.0
レビー小体型認知症	5	60.0	60.0	20.0	0.0	0.0	20.0	20.0	0.0	60.0	20.0	20.0	0.0	20.0
前頭側頭型認知症	3	100.0	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	71.4	28.6	14.3	0.0	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	14.3	14.3	0.0	0.0
無回答	16	25.0	31.3	31.3	0.0	6.3	6.3	31.3	0.0	31.3	0.0	0.0	12.5	25.0

問9 あなたが共感できる考え方はありますか。(あてはまるものすべてに○)

「私のことは支援者が決めるのではなく、自分で決めることが大切だと考えている」「特にない」の割合が 32.9%と最も高く、次いで「私には出来ること、やりたいことがある」の割合が 25.7%、「私は住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる」の割合が 17.4%となっています。



【性別】

性別にみると、男性と比べて女性で「私には出来ること、やりたいことがある」の割合が高く、女性と比べて男性で「私は支えられるだけではなく、人を支えることもできる」「私のことは支援者が決めるのではなく、自分で決めることが大切だと考えている」の割合が高くなっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	私には出来ること、やりたいことがある	私は支えられるだけではなく、人を支えることもできる	私は住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる	私のことは支援者が決めるのではなく、自分で決めることが大切だと考えている	特にない	無回答
全 体	167	25.7	12.6	17.4	32.9	32.9	8.4
女性	113	26.5	7.1	17.7	26.5	34.5	8.0
男性	47	21.3	23.4	14.9	44.7	31.9	8.5
女性/男性では答えられない	4	50.0	25.0	50.0	50.0	25.0	0.0
無回答	3	33.3	33.3	0.0	66.7	0.0	33.3

【年代別】

年代別にみると、70歳代～90歳以上まで年代が下がるほど「私のことは支援者が決めるのではなく、自分で決めることが大切だと考えている」の割合が高く、70歳代～90歳以上まで年代が上がるほど「私には出来ること、やりたいことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	私には出来ること、 やりたいことがある	私は支えられるだけで はなく、人を支えるこ とができる	私は住み慣れた地域で 仲間等とつながりなが ら希望を持って暮らし 続けることができる	私のことは支援者が決 めるのではなく、自分 で決めることが大切だ と考えている	特 に な い	無 回 答
全 体	167	25.7	12.6	17.4	32.9	32.9	8.4
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	66.7	66.7	33.3	66.7	0.0	33.3
70～79歳	19	21.1	5.3	10.5	42.1	47.4	10.5
80～89歳	96	25.0	16.7	22.9	36.5	27.1	6.3
90歳以上	40	27.5	2.5	10.0	22.5	40.0	7.5
無回答	9	22.2	11.1	0.0	11.1	44.4	22.2

【認知症等種別】

認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「私は住み慣れた地域で仲間等とつながりながら希望を持って暮らし続けることができる」「私のことは支援者が決めるのではなく、自分で決めることが大切だと考えている」の割合が高く、血管性認知症で「私には出来ること、やりたいことがある」の割合が高くなっています。

単位：％

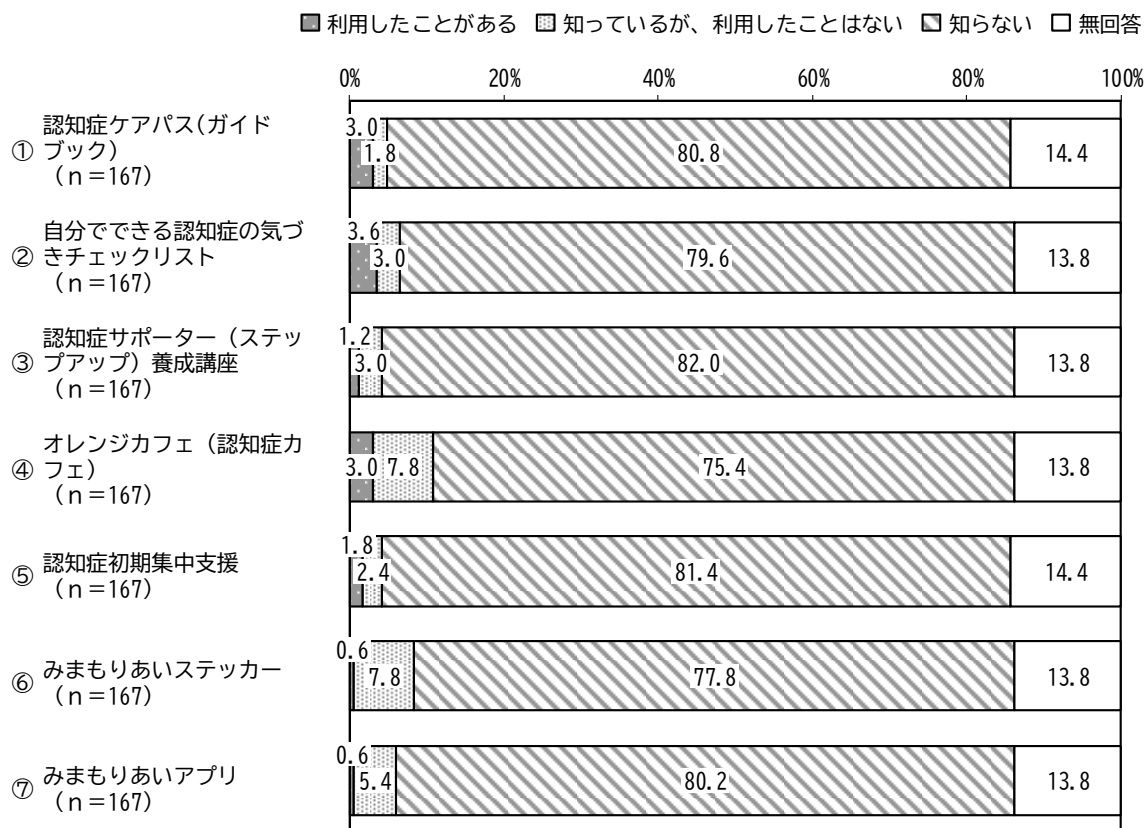
区分	回答者数 (件)	私には出来ること、 やりたいことがある	私は支えられるだけで はなく、人を支えるこ とができる	私は住み慣れた地域で 仲間等とつながりなが ら希望を持って暮らし 続けることができる	私のことは支援者が決 めるのではなく、自分 で決めることが大切だ と考えている	特 に な い	無 回 答
全 体	128	27.3	12.5	17.2	32.0	31.3	8.6
アルツハイマー型認知症	92	23.9	15.2	18.5	32.6	32.6	6.5
血管性認知症	10	40.0	20.0	10.0	10.0	50.0	10.0
レビー小体型認知症	5	0.0	0.0	40.0	20.0	60.0	0.0
前頭側頭型認知症	3	33.3	0.0	0.0	0.0	66.7	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	14.3	0.0	42.9	28.6	14.3	0.0
無回答	16	50.0	6.3	6.3	43.8	12.5	25.0

6. 認知症施策について

問 10 認知症の人が尊厳をもち、希望を持って暮らすことができる共生社会の実現に向けて、市では以下の取り組みを行っています。あなたは、次の取り組みをご存知ですか。また、今後利用してみたいと思いますか。（それぞれあてはまるもの1つに○）

利用経験

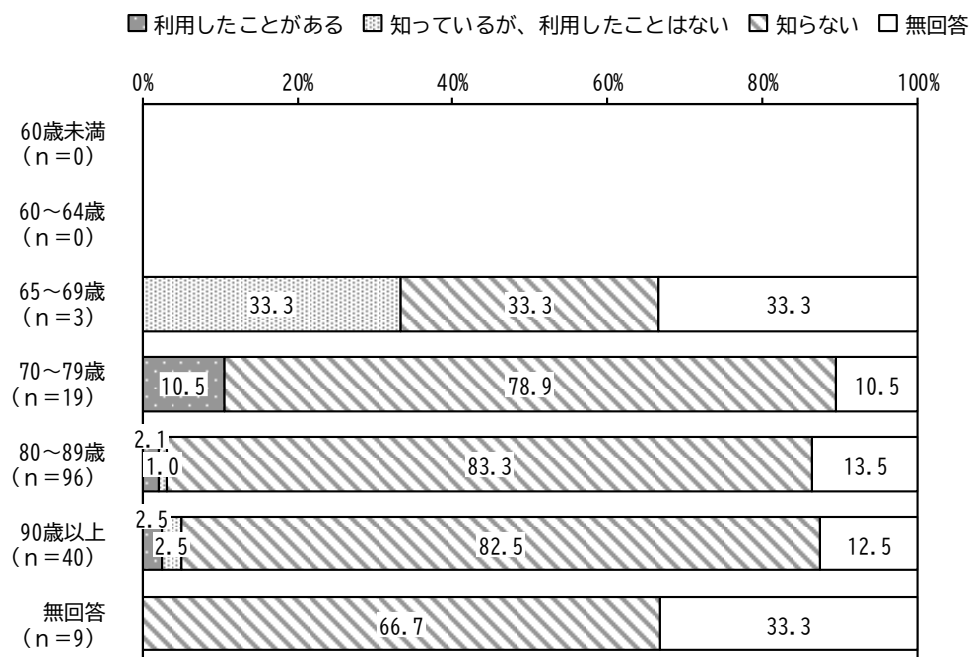
いずれの取り組みも「知らない」が最も高くなっていますが、他の取り組みに比べて、『①認知症ケアパス（ガイドブック）』『②自分でできる認知症の気づきチェックリスト』『④オレンジカフェ（認知症カフェ）』で「利用したことがある」が高くなっています。



①認知症ケアパス(ガイドブック)

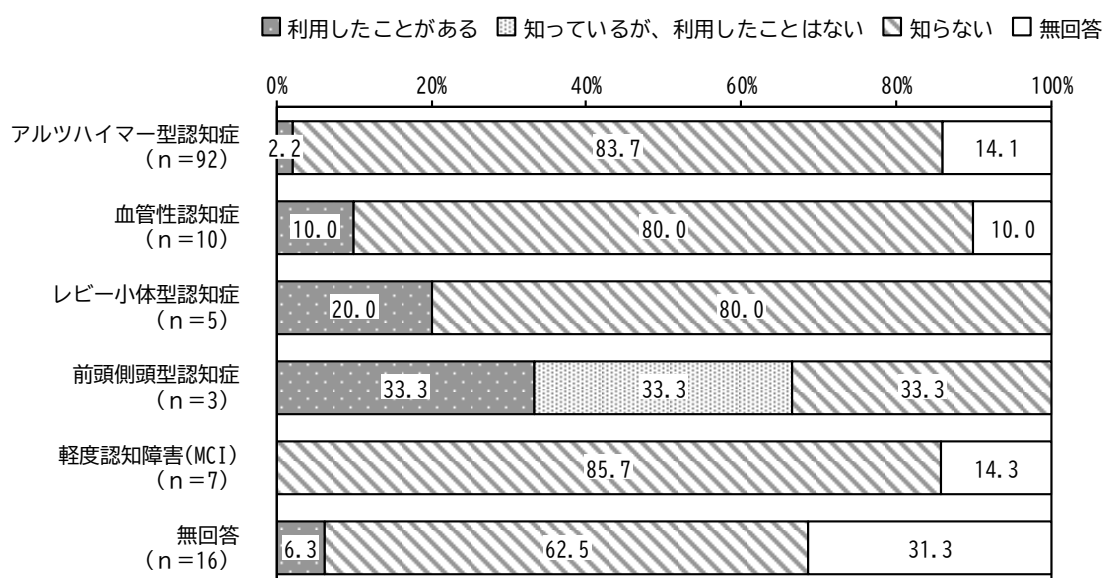
【年代別】

年代別にみると、70歳代で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

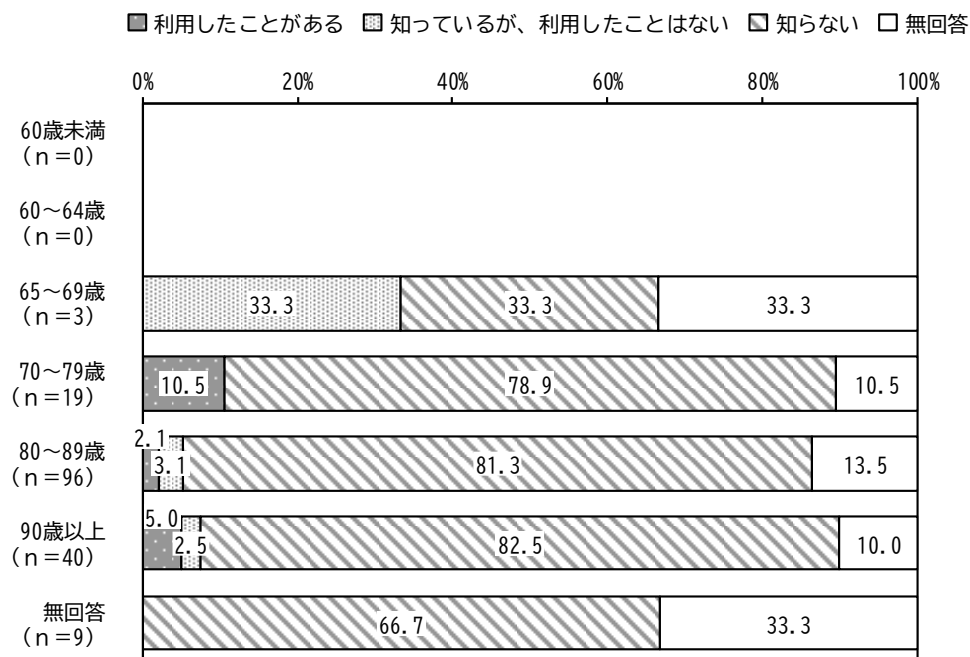
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、血管性認知症で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



②自分でできる認知症の気づきチェックリスト

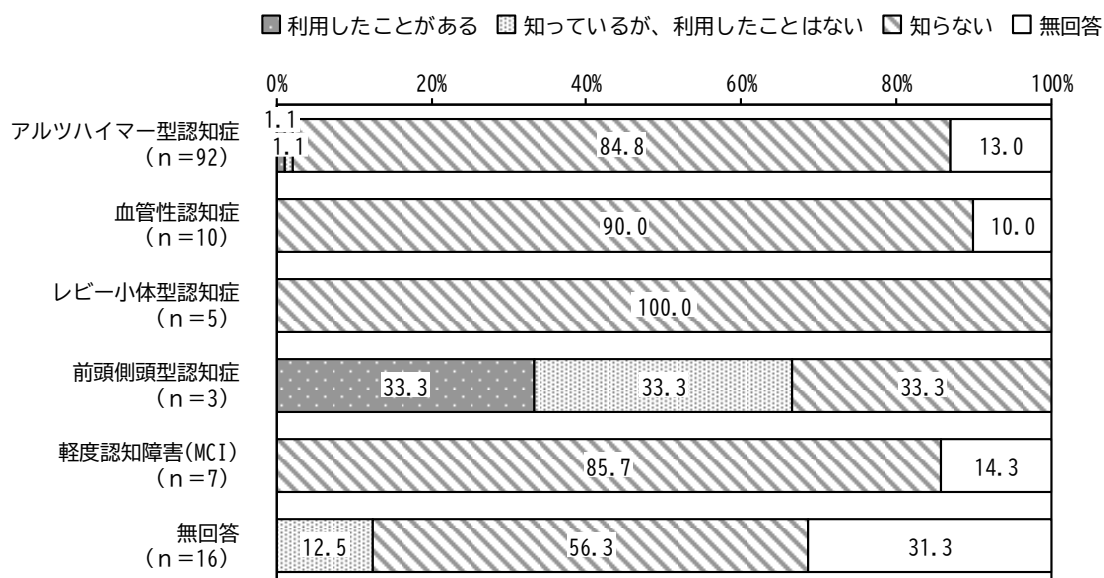
【年代別】

年代別にみると、70歳代で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

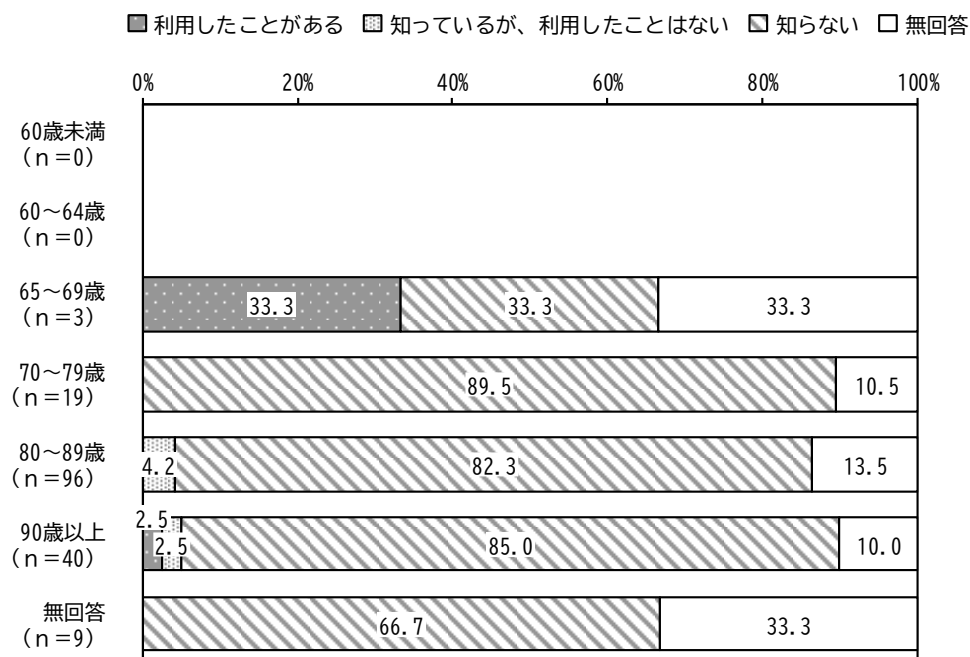
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、血管性認知症で「知らない」の割合が高くなっています。



③認知症サポーター（ステップアップ）養成講座

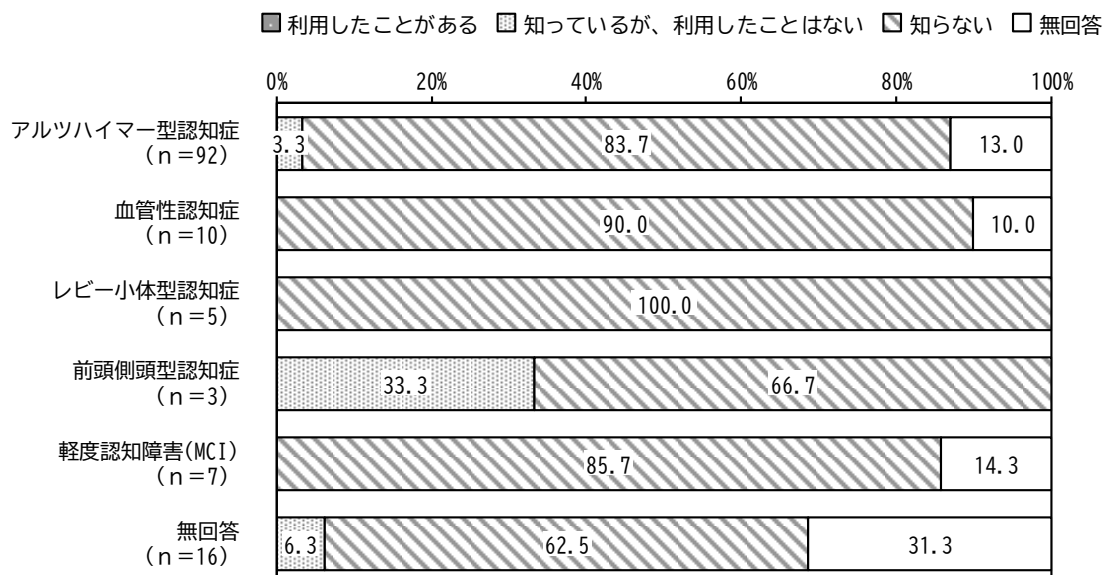
【年代別】

年代別にみると、90歳以上で「利用したことがある」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

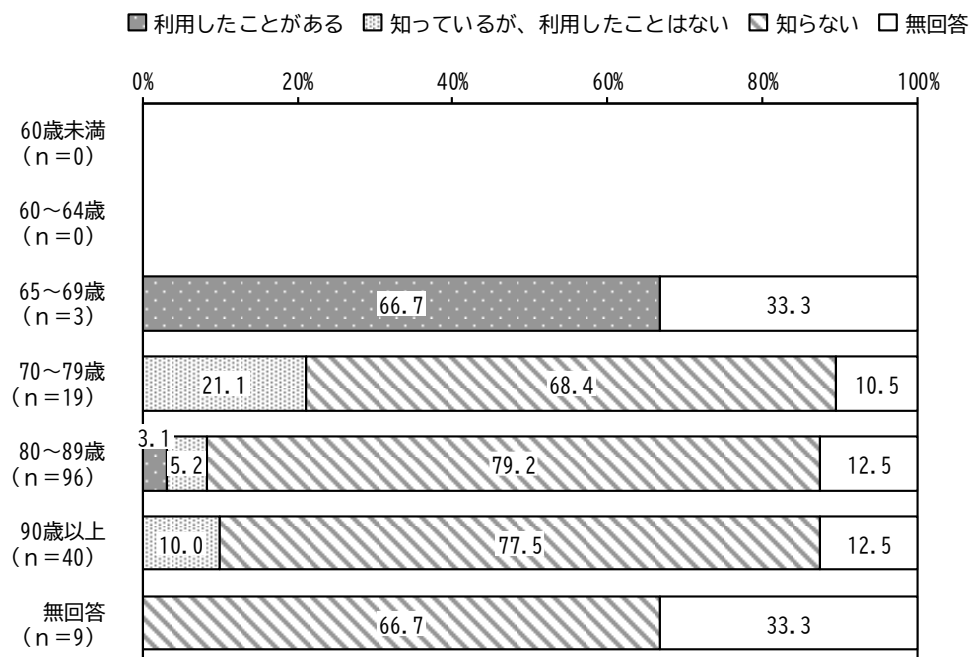
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、血管性認知症で「知らない」の割合が高くなっています。



④オレンジカフェ（認知症カフェ）

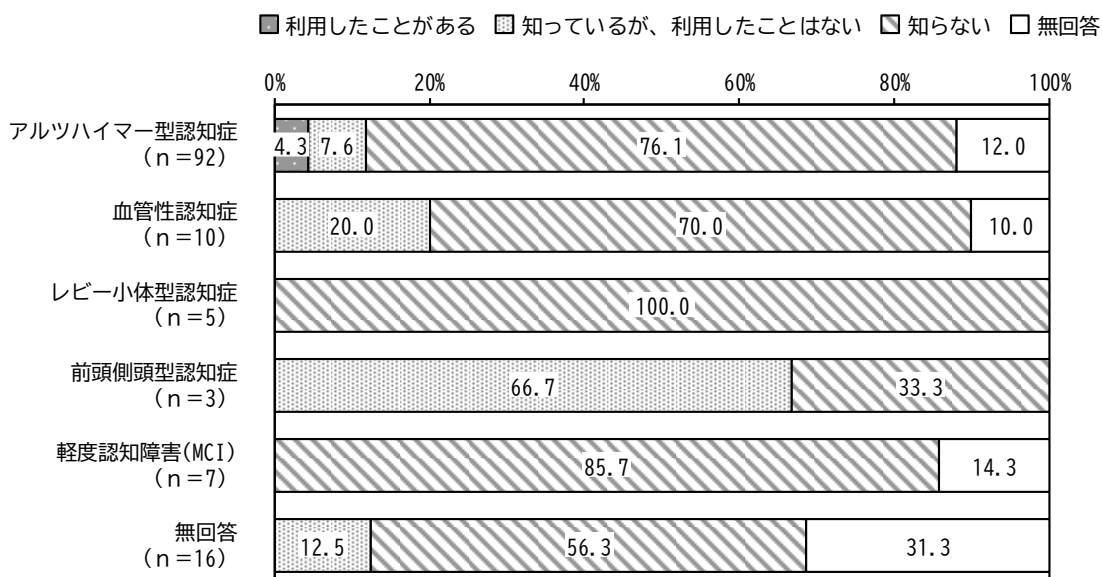
【年代別】

年代別にみると、70歳代で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

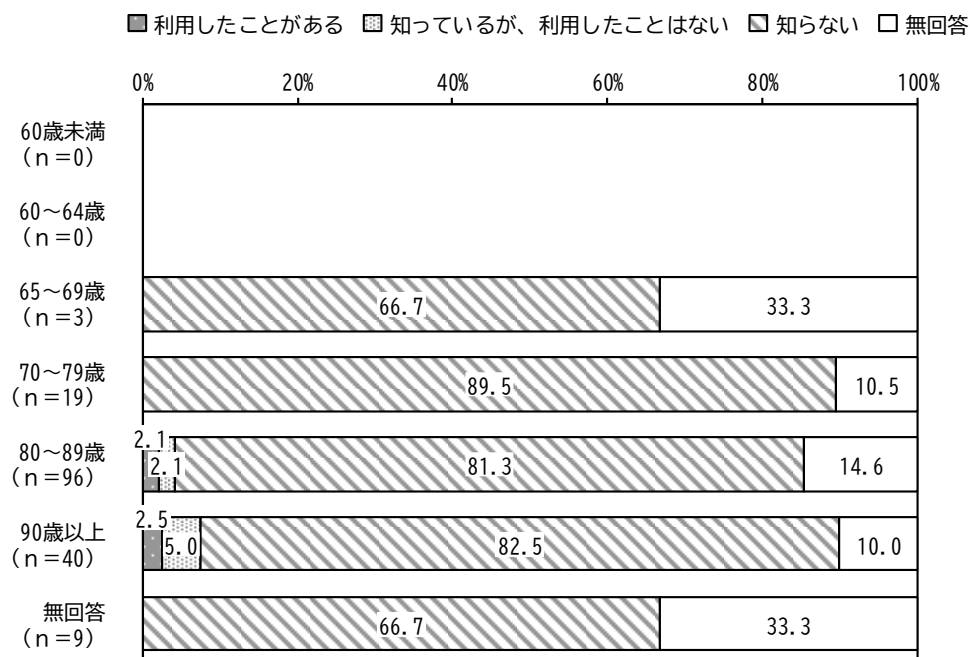
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「知らない」の割合が高く、血管性認知症で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



⑤認知症初期集中支援

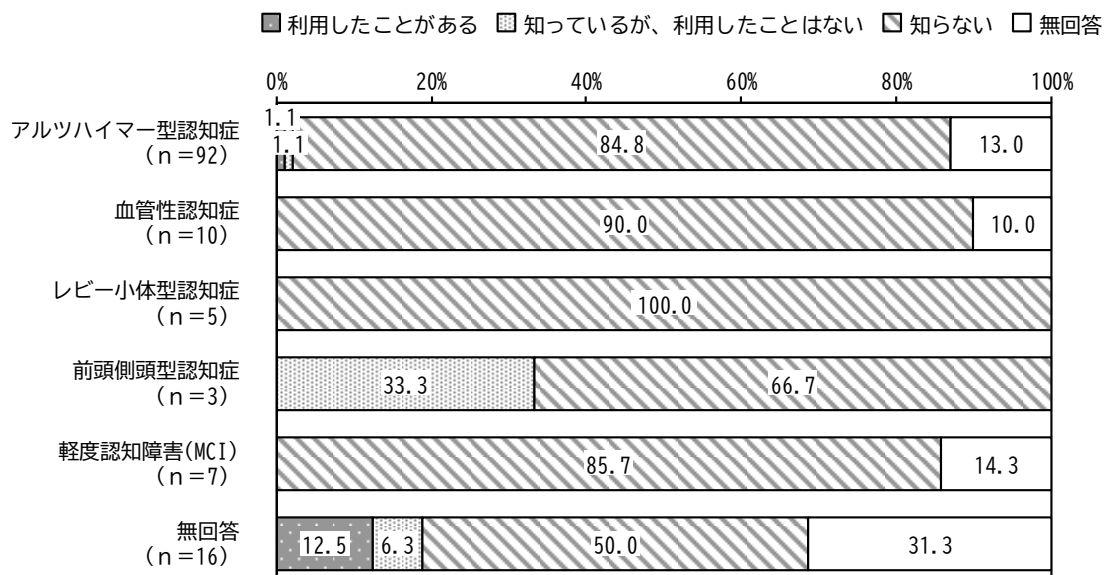
【年代別】

年代別にみると、90歳代で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

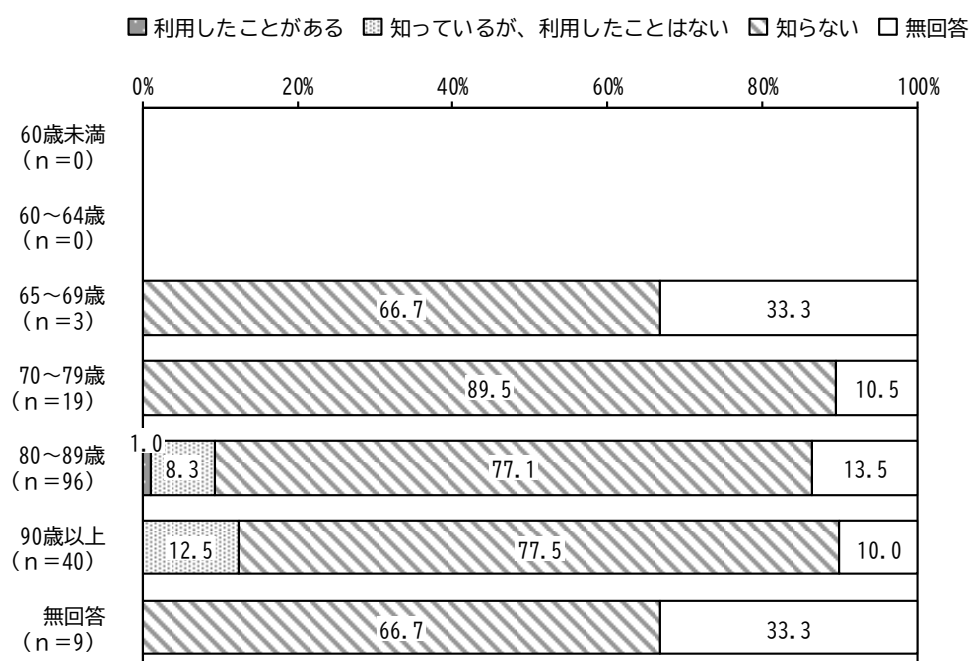
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、血管性認知症で「知らない」の割合が高くなっています。



⑥みまもりあいステッカー

【年代別】

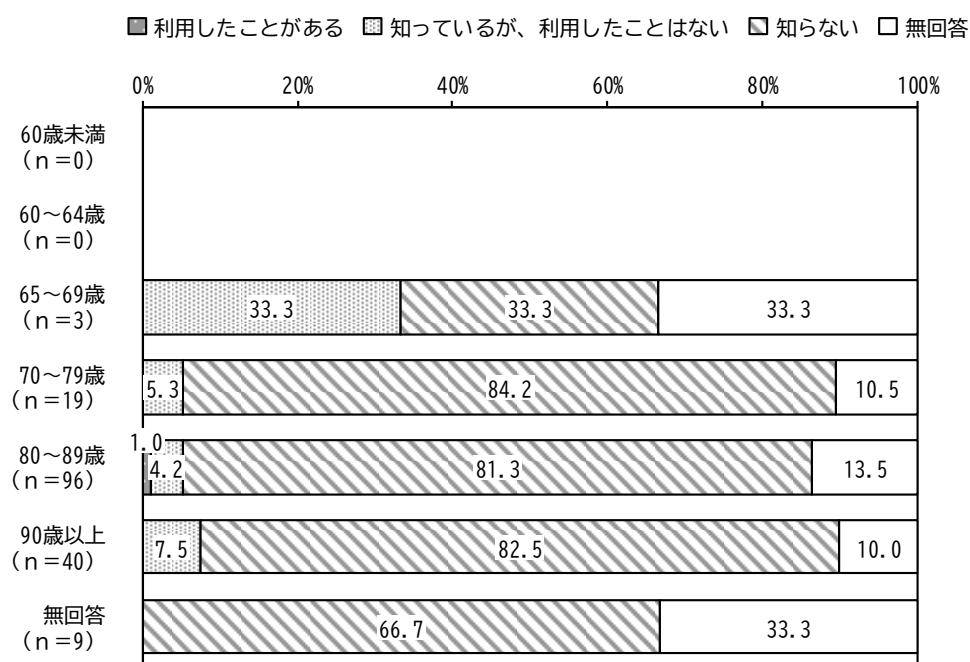
年代別にみると、他の年代に比べて、90歳以上で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



⑦みまもりあいアプリ

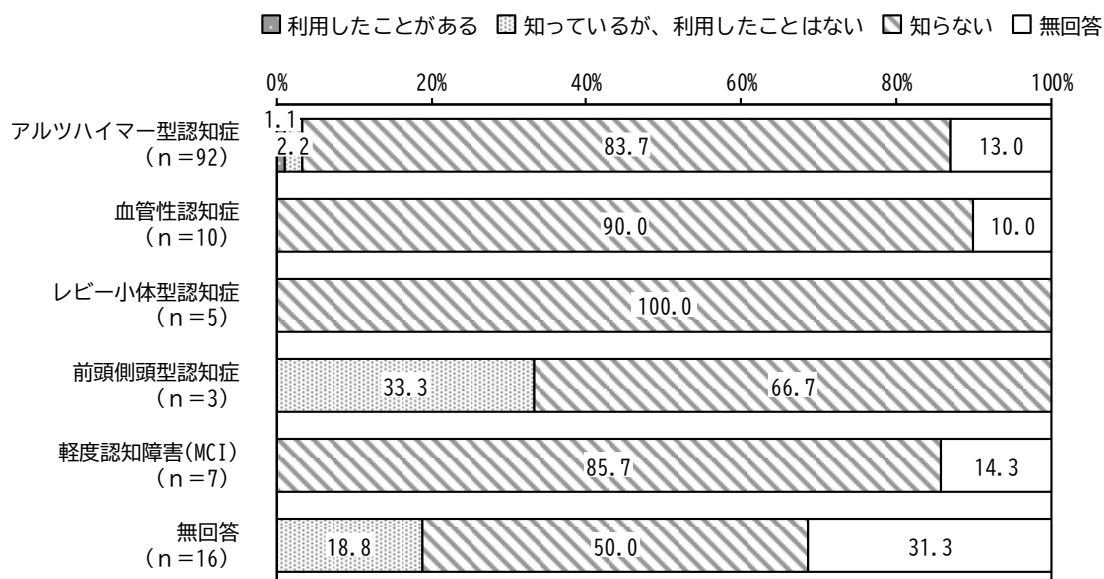
【年代別】

年代別にみると、90歳以上で「知っているが、利用したことはない」の割合が高くなっています。



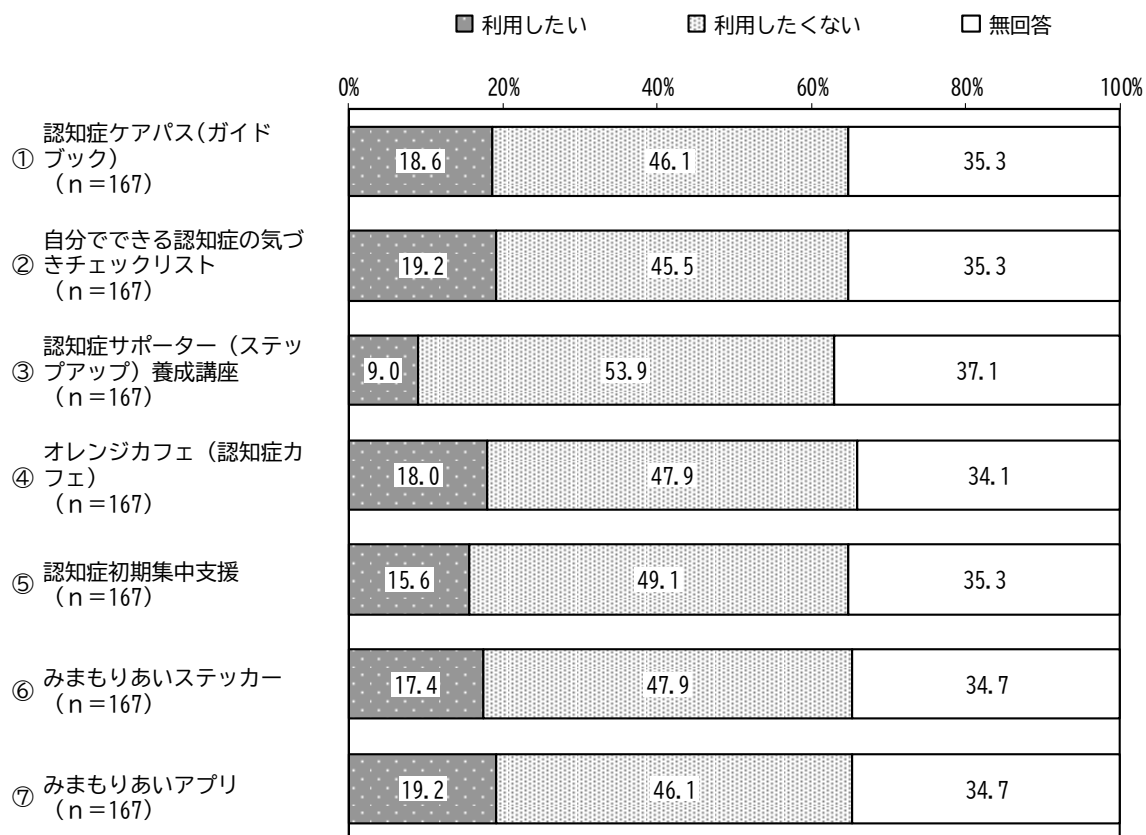
【認知症等種別】

認知症等種別にみると、他の種別に比べて、血管性認知症で「知らない」の割合が高くなっています。



今後の利用意向

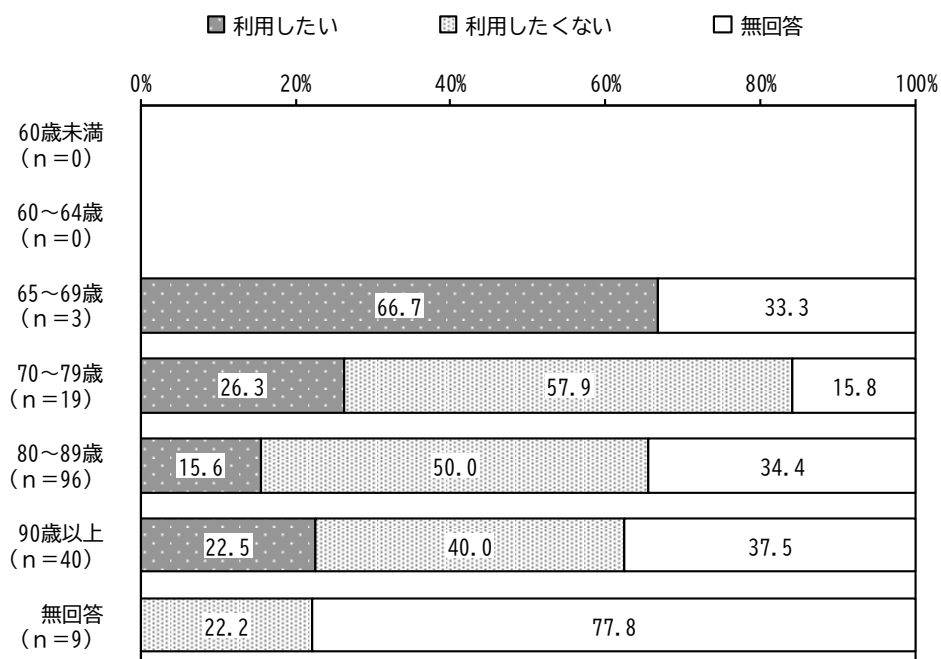
いずれの取り組みも「利用したくない」が高くなっていますが、他の取り組みに比べて、『①認知症ケアパス（ガイドブック）』『②自分でできる認知症の気づきチェックリスト』『④オレンジカフェ（認知症カフェ）』『⑦みまもりあいアプリ』で「利用したい」が高くなっています。



①認知症ケアパス(ガイドブック)

【年代別】

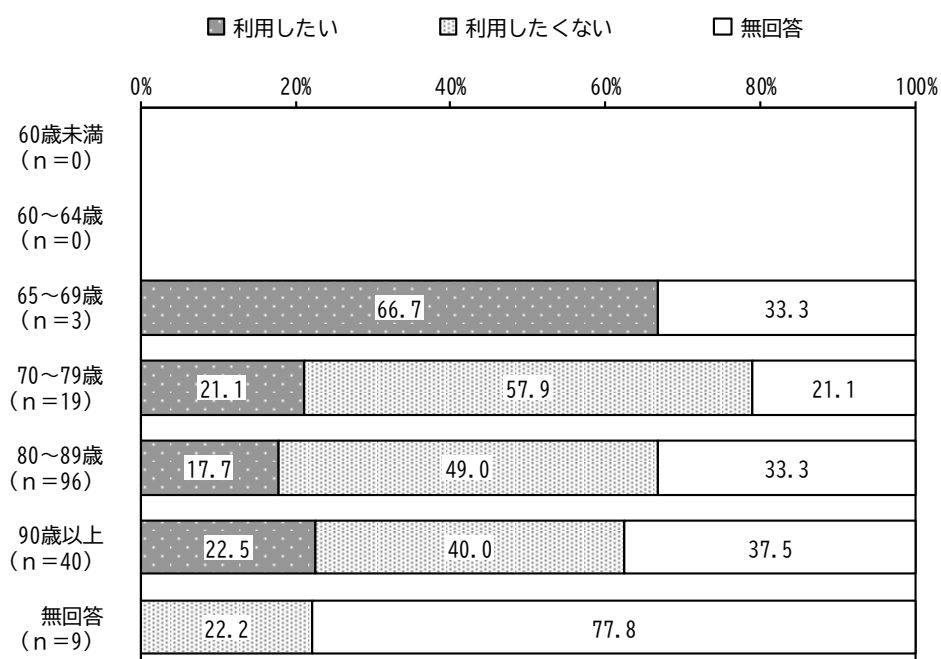
年代別にみると、70 歳代で「利用したい」の割合が高くなっています。



②自分でできる認知症の気づきチェックリスト

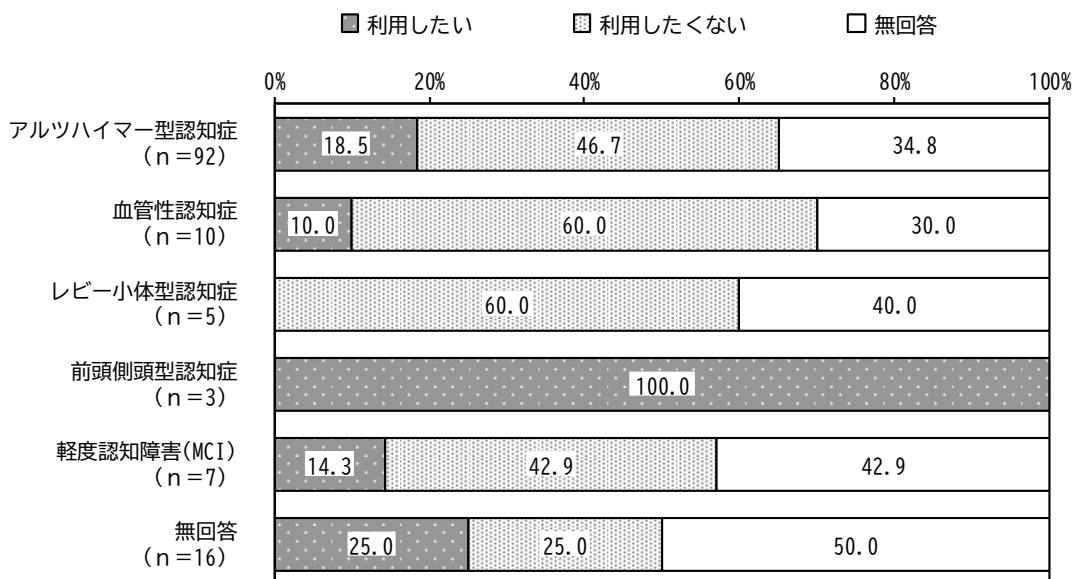
【年代別】

年代別にみると、70 歳代～80 歳代まで年代が下がるほど「利用したい」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

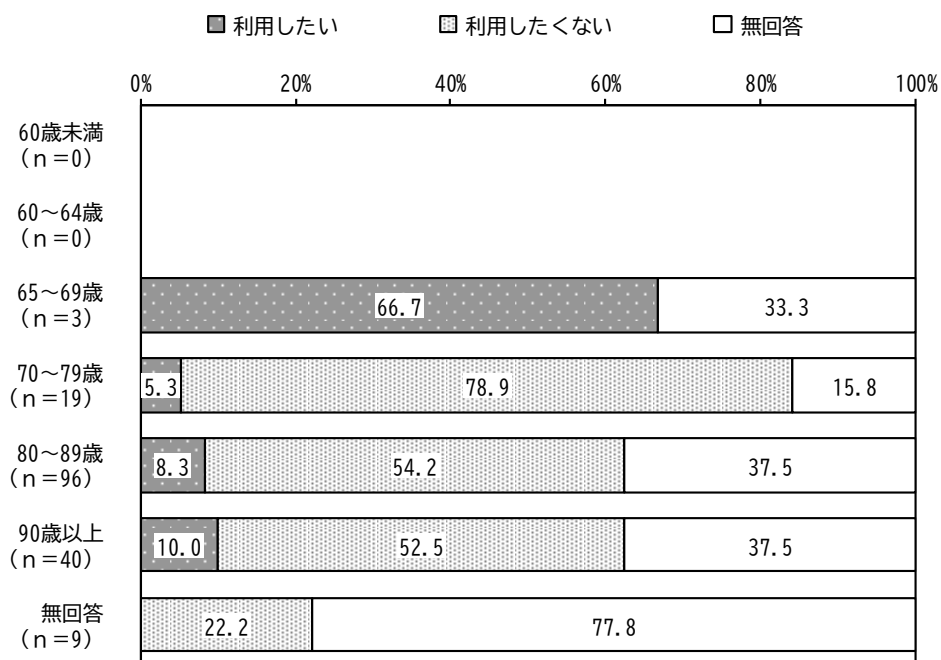
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「利用したい」の割合が高くなっています。



③認知症サポーター（ステップアップ）養成講座

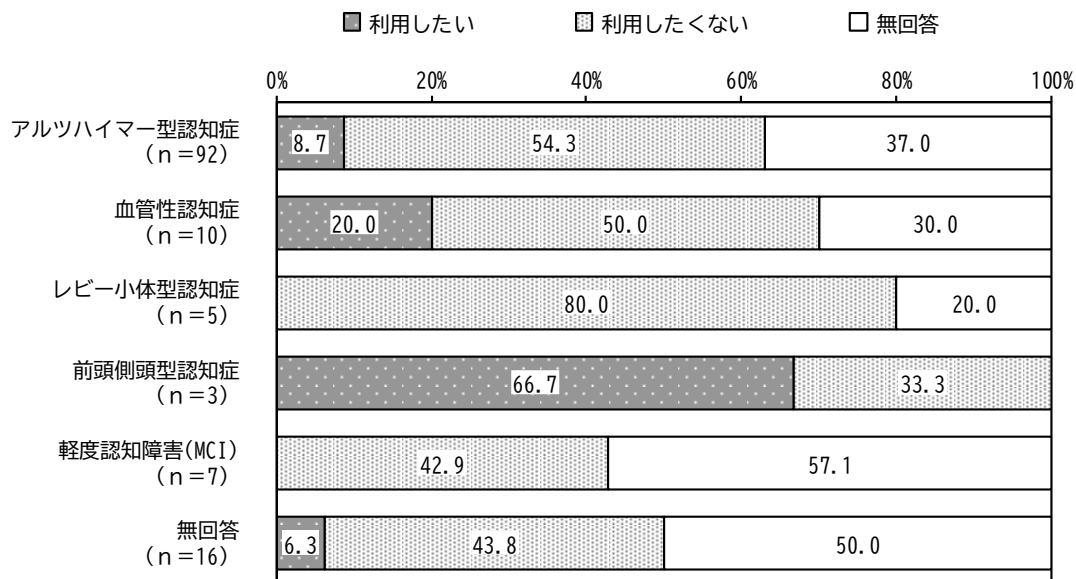
【年代別】

年代別にみると、70歳代～90歳以上まで年代が上がるほど「利用したい」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

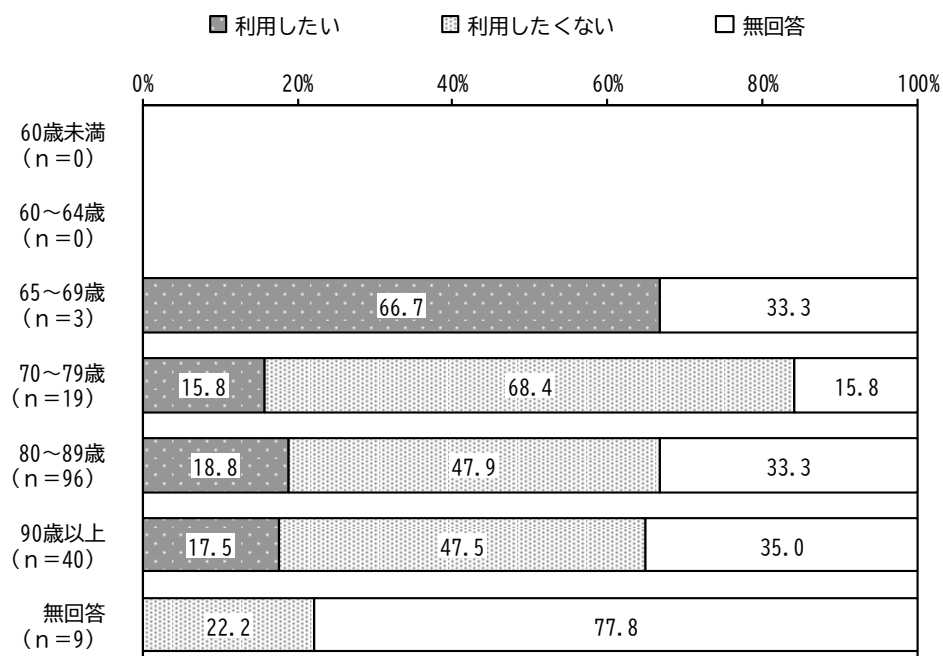
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、血管性認知症で「利用したい」の割合が高くなっています。



④オレンジカフェ（認知症カフェ）

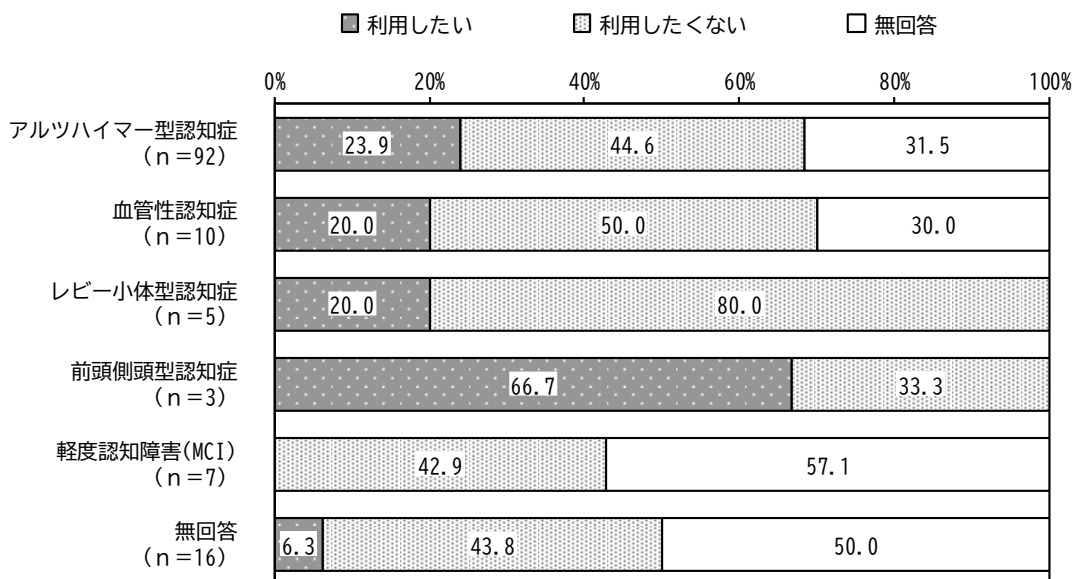
【年代別】

年代別にみると、70歳代～90歳以上まで年代が下がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



【認知症等種別】

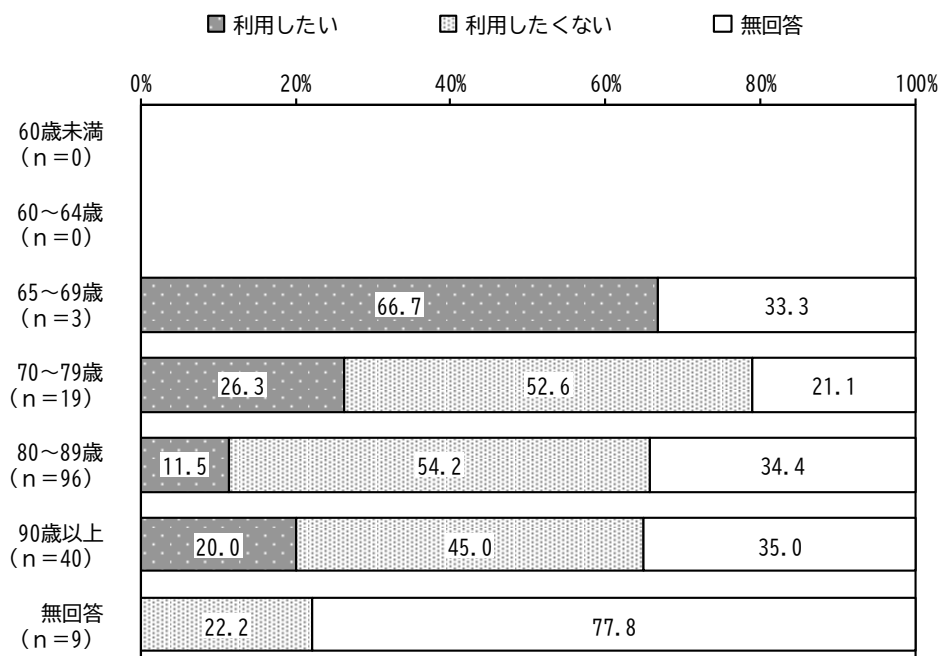
認知症等種別にみると、他の種別に比べて、血管性認知症で「利用したくない」の割合が高くなっています。



⑤認知症初期集中支援

【年代別】

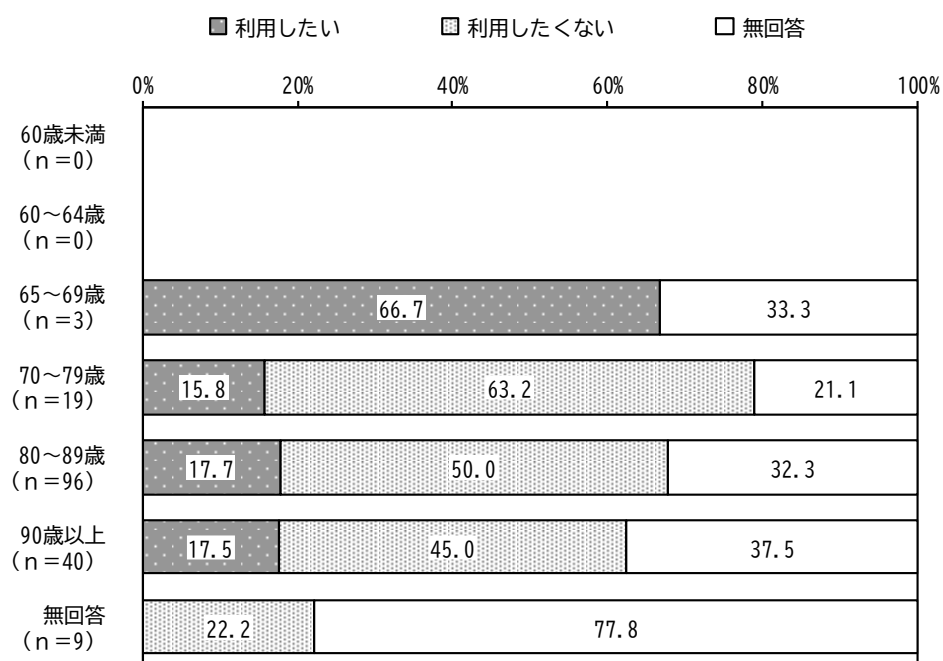
年代別にみると、70歳代で「利用したい」の割合が高くなっています。



⑥みまもりあいステッカー

【年代別】

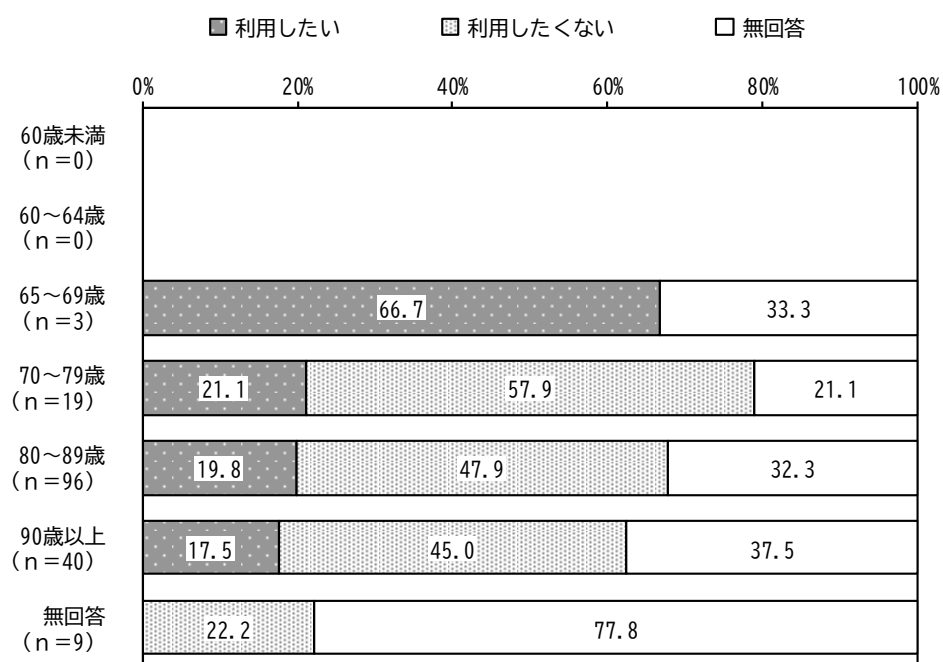
年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が下がるほど「利用したくない」の割合が高くなっています。



⑦みまもりあいアプリ

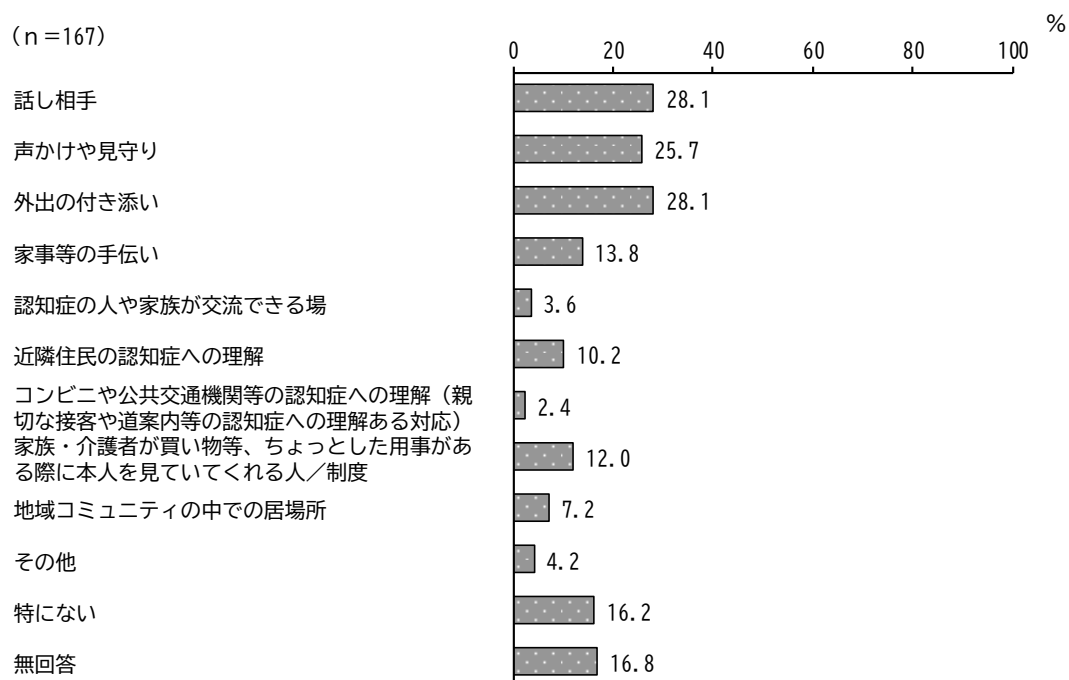
【年代別】

年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が下がるほど「利用したい」の割合が高くなっています。



問 11 あなたが暮らしやすい社会にするために、どのようなサポートが必要だと思いますか。(特に当てはまるもの3つまでを選択し○)

「話し相手」、「外出の付き添い」の割合が 28.1%と最も高く、次いで「声かけや見守り」の割合が 25.7%となっています。



【性別】

性別にみると、男性と比べて女性で「話し相手」「声かけや見守り」の割合が高く、女性と比べて男性で「外出の付き添い」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	話し相手	声かけや見守り	外出の付き添い	家事等の手伝い	認知症の人や家族が交流できる場	近隣住民の認知症への理解
全 体	167	28.1	25.7	28.1	13.8	3.6	10.2
女性	113	34.5	31.0	25.7	14.2	4.4	10.6
男性	47	10.6	12.8	36.2	14.9	2.1	10.6
女性/男性では答えられない	4	50.0	25.0	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	3	33.3	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0

区分	回答者数（件）	コンビニや公共交通機関等の認知症への理解（親切な接客や道案内等の認知症への理解ある対応）	家族・介護者が買い物等、ちょっとした用事がある際に本人を見ていてくれる人／制度	地域コミュニティの中の居場所	その他	特にない	無回答
全 体	167	2.4	12.0	7.2	4.2	16.2	16.8
女性	113	1.8	11.5	7.1	4.4	12.4	14.2
男性	47	4.3	14.9	4.3	4.3	21.3	23.4
女性/男性では答えられない	4	0.0	0.0	50.0	0.0	50.0	0.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3

【年代別】

年代別にみると、70 歳代～90 歳以上まで年代が上がるほど「話し相手」「声かけや見守り」の割合が高い傾向にあり、70 歳代～80 歳代まで年代が下がるほど「家事等の手伝い」「コンビニや公共交通機関等の認知症への理解（親切的接客や道案内等の認知症への理解ある対応）」の割合が高く、「外出の付き添い」の割合が低くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	話し相手	声かけや見守り	外出の付き添い	家事等の手伝い	認知症の人や家族が交流 できる場	近隣住民の認知症への理 解
全 体	167	28.1	25.7	28.1	13.8	3.6	10.2
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	0.0	0.0	0.0	33.3	33.3	33.3
70～79歳	19	21.1	15.8	26.3	15.8	0.0	0.0
80～89歳	96	29.2	29.2	35.4	14.6	3.1	12.5
90歳以上	40	35.0	30.0	17.5	12.5	5.0	10.0
無回答	9	11.1	0.0	11.1	0.0	0.0	0.0

区分	回答者数 (件)	コンビニや公共交通機関 等の認知症への理解（親 切的接客や道案内等の認 知症への理解ある対応）	家族・介護者が買い物等、 ちよつとした用事がある 際に本人を見ていてくれ る人／制度	地域コミュニティの中で の居場所	その他	特にな い	無回 答
全 体	167	2.4	12.0	7.2	4.2	16.2	16.8
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	66.7	33.3	0.0	0.0	0.0	33.3
70～79歳	19	5.3	5.3	5.3	5.3	31.6	21.1
80～89歳	96	1.0	13.5	8.3	1.0	15.6	13.5
90歳以上	40	0.0	10.0	7.5	5.0	12.5	17.5
無回答	9	0.0	11.1	0.0	33.3	11.1	33.3

【認知症等種別】

認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「家族・介護者が買い物等、ちょっとした用事がある際に本人を見ていてくれる人／制度」「地域コミュニティの中での居場所」の割合が高く、血管性認知症で「話し相手」「声かけや見守り」「近隣住民の認知症への理解」の割合が高くなっています。

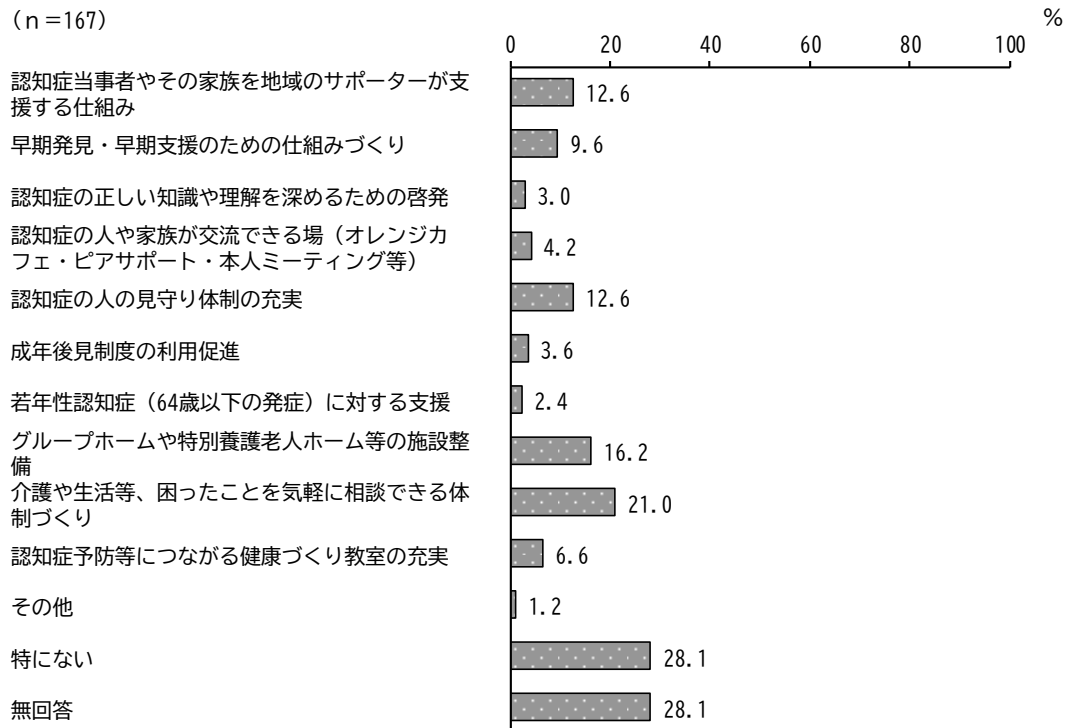
単位：％

区分	回答者数 (件)	話し相手	声かけや見守り	外出の付き添い	家事等の手伝い	認知症の人や家族が交流 できる場	近隣住民の認知症への理 解
全 体	128	28.9	31.3	29.7	11.7	4.7	12.5
アルツハイマー型認知症	92	26.1	31.5	32.6	12.0	3.3	12.0
血管性認知症	10	40.0	60.0	30.0	10.0	0.0	30.0
レビー小体型認知症	5	40.0	20.0	20.0	40.0	20.0	0.0
前頭側頭型認知症	3	66.7	66.7	33.3	33.3	33.3	33.3
軽度認知障害(MCI)	7	28.6	28.6	28.6	14.3	14.3	14.3
無回答	16	37.5	25.0	12.5	0.0	0.0	12.5

区分	回答者数 (件)	コンビニや公共交通機関 等の認知症への理解(親 切な接客や道案内等の認 知症への理解ある対応)	家族・介護者が買い物等、 ちょっとした用事がある 際に本人を見ていてくれ る人／制度	地域コミュニティの中 での居場所	その他	特 に な い	無 回 答
全 体	128	1.6	10.2	7.0	1.6	13.3	20.3
アルツハイマー型認知症	92	2.2	12.0	6.5	1.1	14.1	19.6
血管性認知症	10	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
レビー小体型認知症	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	20.0
前頭側頭型認知症	3	0.0	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	0.0	0.0	42.9	14.3	14.3	0.0
無回答	16	0.0	6.3	0.0	0.0	6.3	31.3

問 12 認知症施策として、市に取り組んで欲しいことはありますか。
(特に当てはまるもの3つまでを選択し○)

「介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり」の割合が 21.0%と最も高く、次いで「グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備」の割合が 16.2%、「認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み」、「認知症の人の見守り体制の充実」の割合が 12.6%となっています。



【性別】

性別にみると、男性と比べて女性で「認知症の人の見守り体制の充実」「介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり」「認知症予防等につながる健康づくり教室の充実」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知症当事者やその家族を地域のサポートが支援する仕組み	早期発見・早期支援のための仕組みづくり	認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発	認知症の人や家族が交流できる場（オンラインカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等）	認知症の人の見守り体制の充実	成年後見制度の利用促進
全 体	167	12.6	9.6	3.0	4.2	12.6	3.6
女性	113	12.4	10.6	3.5	4.4	14.2	4.4
男性	47	12.8	8.5	2.1	4.3	8.5	2.1
女性/男性では答えられない	4	25.0	0.0	0.0	0.0	25.0	0.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	回答者数（件）	若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援	グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備	介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり	認知症予防等につながる健康づくり教室の充実	その他	特になし
全 体	167	2.4	16.2	21.0	6.6	1.2	28.1
女性	113	1.8	15.9	23.0	8.8	1.8	26.5
男性	47	4.3	19.1	14.9	2.1	0.0	31.9
女性/男性では答えられない	4	0.0	0.0	50.0	0.0	0.0	25.0
無回答	3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	33.3

区分	回答者数（件）	無回答
全 体	167	28.1
女性	113	24.8
男性	47	34.0
女性/男性では答えられない	4	25.0
無回答	3	66.7

【年代別】

年代別にみると、65 歳代～70 歳代まで年代が下がるほど「認知症の人や家族が交流できる場（オレ
ンジカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等）」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数 (件)	認知症当事者やその家 族を地域のサポーター が支援する仕組み	早期発見・早期支援の ための仕組みづくり	認知症の正しい知識や 理解を深めるための啓 発	認知症の人や家族が交 流できる場（オレ ンジカフェ・ピアサポート・ 本人ミーティング等）	認知症の人の見守り体 制の充実	成年後見制度の利用促 進
全 体	167	12.6	9.6	3.0	4.2	12.6	3.6
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	33.3	33.3	0.0	33.3	33.3	0.0
70～79歳	19	5.3	5.3	0.0	10.5	5.3	0.0
80～89歳	96	12.5	10.4	3.1	2.1	16.7	4.2
90歳以上	40	10.0	10.0	5.0	5.0	7.5	5.0
無回答	9	33.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

区分	回答者数 (件)	若年性認知症（64 歳以 下の発症）に対する支 援	グループホームや特別 養護老人ホーム等の施 設整備	介護や生活等、困った ことを気軽に相談でき る体制づくり	認知症予防等につな がる健康づくり教室の充 実	その他	特 に ない
全 体	167	2.4	16.2	21.0	6.6	1.2	28.1
60歳未満	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
60～64歳	0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
65～69歳	3	66.7	33.3	33.3	0.0	0.0	0.0
70～79歳	19	0.0	10.5	21.1	0.0	5.3	36.8
80～89歳	96	2.1	14.6	21.9	5.2	1.0	30.2
90歳以上	40	0.0	25.0	15.0	7.5	0.0	22.5
無回答	9	0.0	0.0	33.3	33.3	0.0	22.2

区分	回答者数 (件)	無 回 答
全 体	167	28.1
60歳未満	0	0.0
60～64歳	0	0.0
65～69歳	3	0.0
70～79歳	19	21.1
80～89歳	96	25.0
90歳以上	40	37.5
無回答	9	44.4

【認知症等種別】

認知症等種別にみると、他の種別に比べて、アルツハイマー型認知症で「早期発見・早期支援のための仕組みづくり」「成年後見制度の利用促進」「グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備」「介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり」の割合が高く、血管性認知症で「認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み」「認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発」「認知症の人や家族が交流できる場（オレンジカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等）」「若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援」の割合が高くなっています。

単位：％

区分	回答者数（件）	認知症当事者やその家族を地域のサポーターが支援する仕組み	早期発見・早期支援のための仕組みづくり	認知症の正しい知識や理解を深めるための啓発	認知症の人や家族が交流できる場（オレンジカフェ・ピアサポート・本人ミーティング等）	認知症の人の見守り体制の充実	成年後見制度の利用促進
全 体	128	10.9	10.2	3.9	4.7	12.5	4.7
アルツハイマー型認知症	92	10.9	9.8	3.3	5.4	13.0	5.4
血管性認知症	10	30.0	0.0	30.0	20.0	10.0	0.0
レビー小体型認知症	5	0.0	0.0	0.0	0.0	20.0	0.0
前頭側頭型認知症	3	66.7	33.3	33.3	0.0	66.7	33.3
軽度認知障害(MCI)	7	0.0	14.3	0.0	0.0	0.0	0.0
無回答	16	6.3	12.5	0.0	0.0	12.5	0.0

区分	回答者数（件）	若年性認知症（64歳以下の発症）に対する支援	グループホームや特別養護老人ホーム等の施設整備	介護や生活等、困ったことを気軽に相談できる体制づくり	認知症予防等につながる健康づくり教室の充実	その他	特になし
全 体	128	3.1	18.8	19.5	6.3	1.6	26.6
アルツハイマー型認知症	92	2.2	17.4	20.7	4.3	2.2	27.2
血管性認知症	10	10.0	10.0	10.0	0.0	0.0	30.0
レビー小体型認知症	5	0.0	40.0	0.0	0.0	0.0	20.0
前頭側頭型認知症	3	0.0	33.3	0.0	33.3	0.0	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	0.0	14.3	0.0	14.3	0.0	57.1
無回答	16	6.3	25.0	37.5	12.5	0.0	12.5

区分	回答者数（件）	無回答
全 体	128	28.9
アルツハイマー型認知症	92	26.1
血管性認知症	10	20.0
レビー小体型認知症	5	40.0
前頭側頭型認知症	3	0.0
軽度認知障害(MCI)	7	28.6
無回答	16	43.8

